

「平成 27 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」  
確定版



平成 28 年 3 月

伊勢湾再生推進会議

# 目次

<b>1. はじめに</b> .....	<b>1</b>
<b>2. 「平成 27 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要</b> .....	<b>2</b>
2.1 モニタリング期間 .....	2
2.2 モニタリングの種類.....	2
2.3 モニタリング参加者.....	2
2.4 水質調査地点 .....	4
2.5 モニタリング実施時の気象・海象状況.....	5
<b>3. モニタリング調査結果</b> .....	<b>9</b>
3.1 分析による水質調査.....	9
3.2 簡易水質テスト結果.....	18
3.3 調査状況写真 .....	25
3.4 ゴミ調査結果 .....	79
3.5 水生生物調査結果 .....	88
<b>4. 感想等</b> .....	<b>104</b>

## 1. はじめに

本年度も多くの方々に「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」にご協力頂きまして、ありがとうございました。

伊勢湾再生推進会議では、「人と森・川・海の連携により健全で活力のある伊勢湾を再生し、次世代に継承する」ことをスローガンとした伊勢湾再生行動計画に基づき、伊勢湾再生に取り組んでいます。

伊勢湾流域圏においては、より良い水環境のもと、多様な生物が生息・生育できる“健全な伊勢湾”、産業物流拠点としての優れた機能を活かしながら、人々が集まり、安全で憩いや安らぎを感じられる“活力ある伊勢湾”を再生するため、沿岸域だけでなく、広く流域圏の“人と森・川・海”が連携して伊勢湾再生に取り組んでいくとともに、これらの取り組みを継承していくことが大切だと考えています。

この度は、その一環として、皆様と、流域圏の自治体などが、海の水質が悪くなりやすい夏の時期に一斉にモニタリングを行いました。一斉モニタリングにより、伊勢湾流域圏全体の水環境を知ることができます。

この「伊勢湾流域圏一斉モニタリング」を通じて、市民の皆様が、伊勢湾再生にもっと関心を持っていただき、伊勢湾の再生のさらなる推進につなげてまいりたいと思います。



図 1 伊勢湾流域圏

注) 伊勢湾流域圏とは、伊勢湾と伊勢湾に流れ込む河川の集水域となっている地域のことです。  
(上の図の水色および緑色で示した部分)

伊勢湾再生推進会議

・伊勢湾再生推進会議構成団体

国土交通省・海上保安庁・内閣府内閣官房地域活性化統合事務局

農林水産省・林野庁・水産庁・経済産業省・環境省・岐阜県

愛知県・三重県・名古屋市・名古屋港管理組合・四日市港管理組合

## 2. 「平成 27 年度 伊勢湾流域圏一斉モニタリング」概要

### 2.1 モニタリング期間

平成 27 年 7 月 7 日（土）～8 月 23 日（日）

### 2.2 モニタリングの種類

一斉モニタリングでは、主に自治体が参加した「分析による水質調査」、主に市民の方々が参加した「簡易水質テスト」、「ゴミ調査」、「生物調査」を実施しました。

- ① 分析による水質調査（調査結果 p.9～17）
- ② 簡易水質テスト（調査結果 p.18～78）
- ③ ゴミ調査（調査結果 p.79～87）
- ④ 水生生物調査（調査結果 p.88～103）

### 2.3 モニタリング参加者

平成 27 年度も伊勢湾再生に関心をお持ちの多くの団体・機関から参加いただきました。

表 1 参加団体数の推移

年度	分析による 水質調査	簡易水質テスト、 ゴミ調査、生物調査
平成 27 年度	31	71
平成 26 年度	15	76
平成 25 年度	29	83
平成 24 年度	46	59
平成 23 年度	42	49
平成 22 年度	51	67
平成 21 年度	35	60

#### ◆ 分析による水質調査

##### 【行政機関】

愛知県環境部、愛知県建設部下水道課、阿木川ダム管理所、岩屋ダム管理所、小里川ダム管理所、木曾川下流河川事務所、木曾川上流河川事務所、岐阜県（可児市）、岐阜県環境生活部、岐阜県（岐阜市）、岐阜県（神戸町）、岐阜県（関市）、岐阜県（多治見市）、岐阜県（瑞浪市）、岐阜県（美濃加茂市）、庄内川河川事務所、第四管区海上保安本部海洋情報部海洋調査課、中部地方整備局港湾空港部、徳山ダム管理所、豊橋河川事務所、名古屋市環境局、蓮ダム管理所、丸山ダム管理所、三重河川国道事務所、三重県環境生活部、三重県（津市）、味噌川ダム管理所、明治用土地改良区、矢作ダム管理所、木曾川上流河川事務所横山ダム管理支所、四日市港管理組合

## ◆ 簡易水質テスト、ゴミ調査、生物調査

### 【行政機関】

愛知県環境部、岐阜県環境生活部、岐阜県岐南町建設課、岐阜県御嵩町、第四管区海上保安本部警備救難部環境防災課、土岐市生活学校(土岐市)、豊橋河川事務所、三重県(津市)、宮川流域ルネッサンス協議会

### 【市民団体・NPO 法人・個人】

イーツワン(環境21期会)、生田川マモロード会、NPO 法人伊勢湾フォーラム、内部地区社会福祉協議会(四日市公害と環境未来館)、内山川ホテルを守る会(グラウンドワーク東海)、扇川を愛する緑の会、大井まちづくり協議会スナメリの海、大垣市生活学校、小里川ダム里山教室、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議、公益財団法人河川財団、金山町生活学校、可児市めだかの楽校、亀山の自然を愛する会、NPO 法人木曾三川ごみの会、楠地区まちづくり協議会(四日市公害と環境未来館)、鯨城・堀川と生活を考える会、佐奈川を美しくする会、清水川を愛する会、十四川を守る会、白鳥庭園、NPO 法人神社みなとまち再生グループ、NPO 法人親水会、ステイッチ、高松干潟を守ろう会、地球クラブ、根本愛郷会、引山学区連絡協議会、NPO 法人藤前干潟を守る会、別所団地西鹿乗川美化クラブ、まいバンク協議会(梅田川フォーラム)、松並木つくり隊、みどりのまちづくりグループ、養老町女性会議、養老町生活と環境を考える会、四つ葉会、論田川を美しくする会、渡し場かもめ会

### 【企業】

小塩通信株式会社、神野建設株式会社、東芝プラントシステム株式会社中部支社、東洋建設株式会社、名古屋みなと建設工事安全連絡協議会

### 【学校】

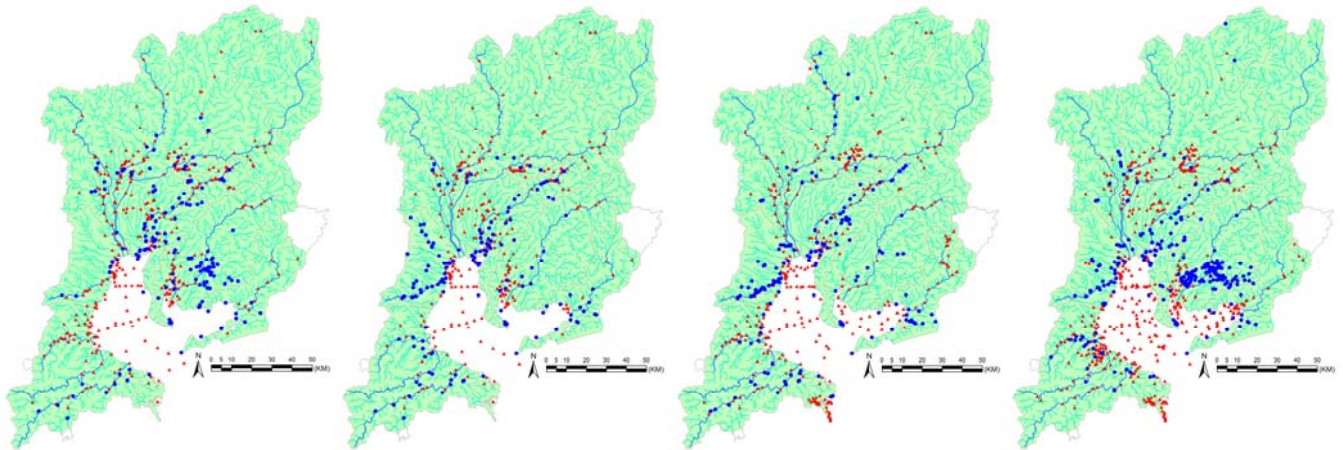
伊勢市立上野小学校、塩浜学童保育所、多気町松阪市学校組合立多気中学校、三重県立飯野高等学校、三重県立国児学園、三重県立久居農林高等学校、四日市市立山手中学校理科部

## 2.4 水質調査地点

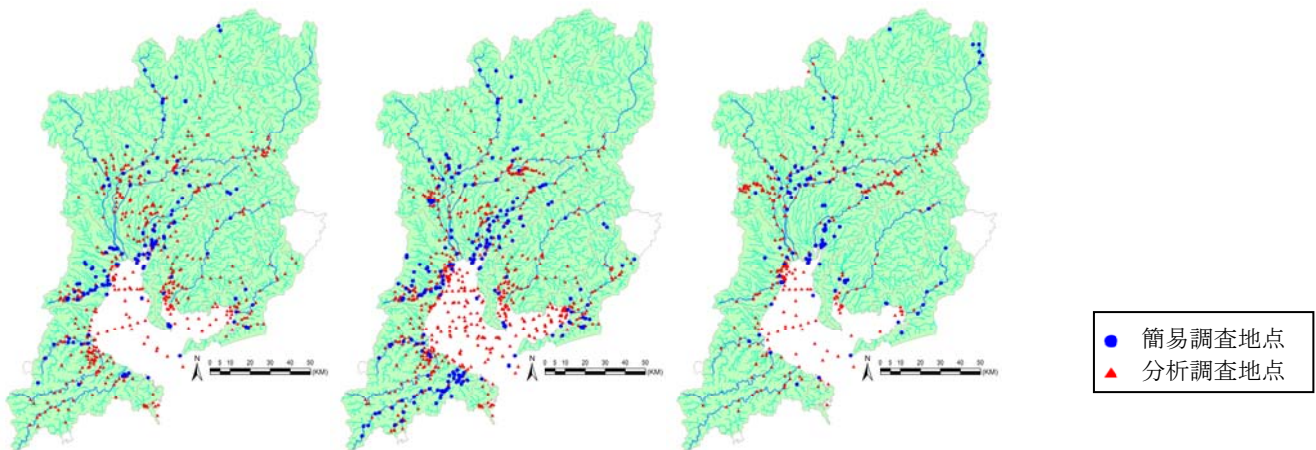
平成 27 年度のモニタリング調査地点数は、分析による水質調査が 499 地点、簡易水質調査が 252 地点でした。

表 2 一斉モニタリング地点数の推移

	分析による水質調査			簡易水質調査		
	陸域	海域	計	陸域	海域	計
平成 27 年度	422	77	499	225	27	252
平成 26 年度	259	80	339	132	32	164
平成 25 年度	328	125	453	159	33	192
平成 24 年度	450	223	673	357	32	389
平成 23 年度	483	109	592	119	34	153
平成 22 年度	569	234	803	189	39	228
平成 21 年度	264	69	333	78	28	106



(平成 27 年度モニタリング地点) (平成 26 年度モニタリング地点) (平成 25 年度モニタリング地点) (平成 24 年度モニタリング地点)



(平成 23 年度モニタリング地点) (平成 22 年度モニタリング地点) (平成 21 年度モニタリング地点)

図 2 平成 21 年度～平成 27 年度一斉モニタリング地点

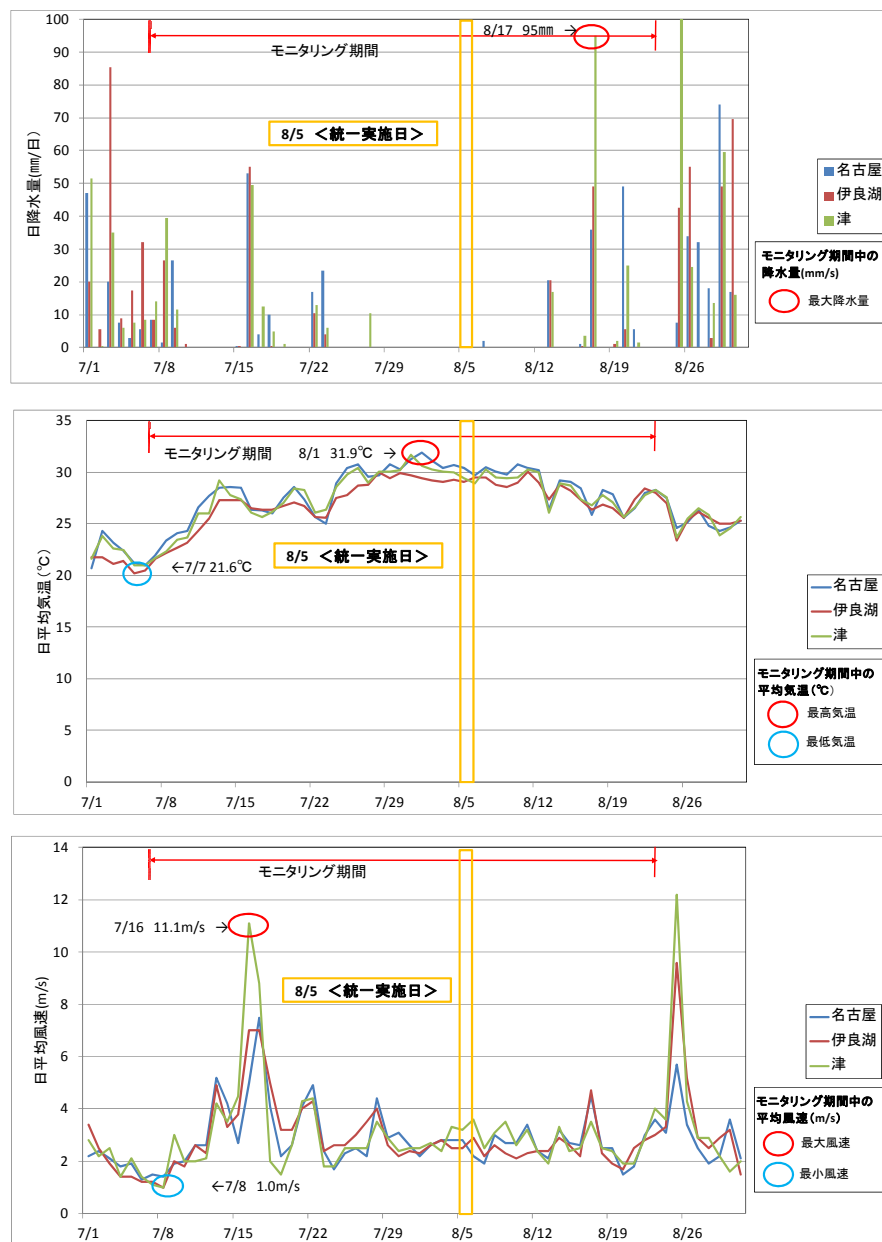
※海域では、同じ場所で水深を変えて測っているところもあります。

## 2.5 モニタリング実施時の気象・海象状況

一斉モニタリング期間（平成 27 年 7 月 7 日～8 月 23 日）の気象状況及び潮位を図 3、図 4 に示しました。

一斉モニタリング期間中、7 月上旬は梅雨前線や低気圧の影響により雨や曇りの日が続きましたが、7 月下旬の梅雨明けから 8 月上旬にかけては晴れた日が続きました。8 月中旬以降は、台風 15 号や台風 16 号等の影響によるまとまった降雨があり、8 月 17 日には津気象台で 95mm の日降水量を観測しています。

日平均気温は 7 月上旬から徐々に上昇し 7 月下旬から 8 月上旬にかけては 30℃前後、8 月 1 日に最高 31.9℃を記録しました。また、日平均風速は 7 月 16 日に台風 11 号の影響で 11.1m/s を記録した以外は、概ね 2～4m/s 程度でした。

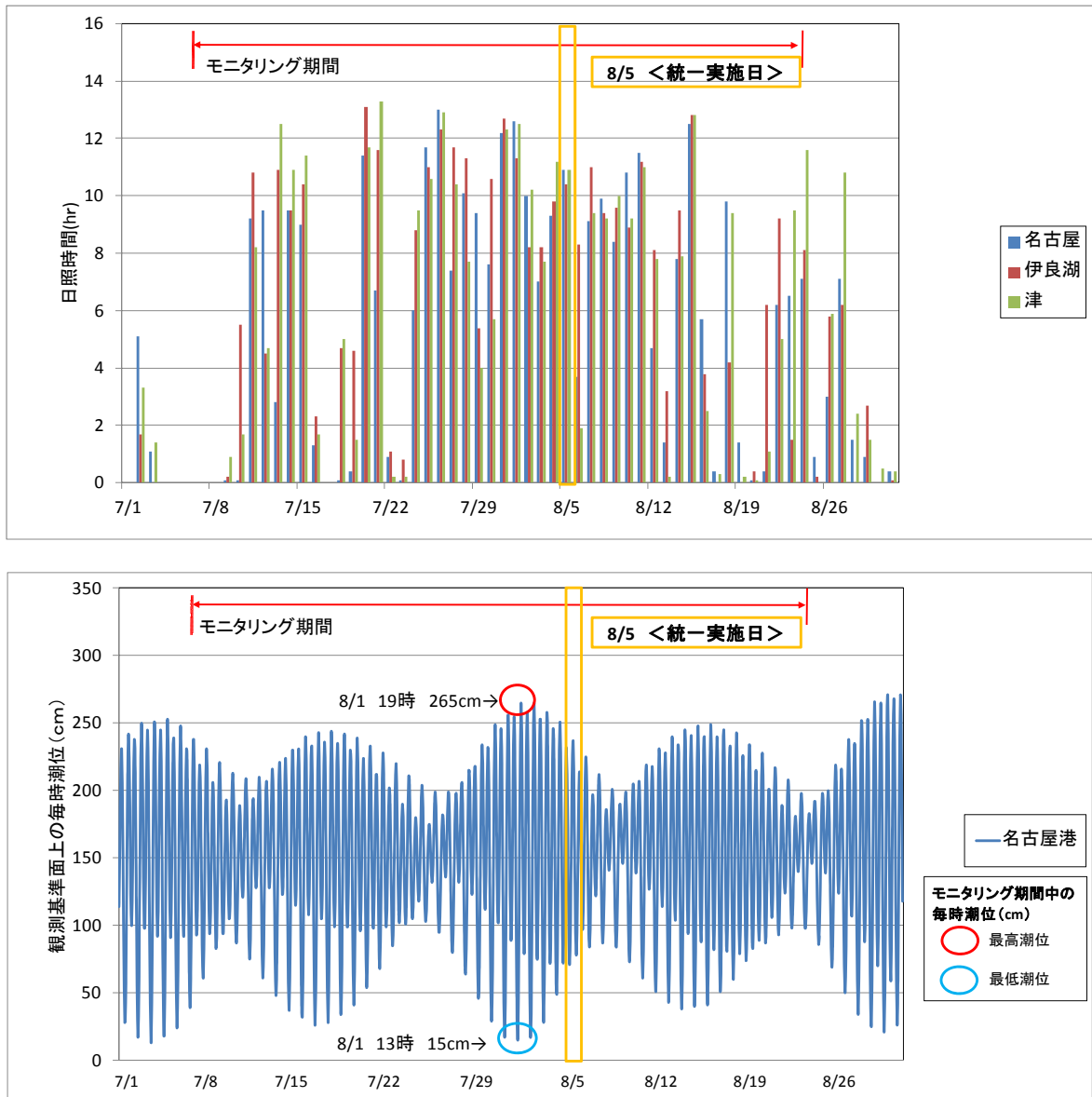


気象庁のデータから作成

図 3 一斉モニタリング時の気象・海象状況①(降水量・気温・風速)

日照時間は、7月下旬の梅雨明け以降に晴天が続いたこともあり、7月下旬から8月上旬にかけては概ね10時間程度の日照時間となっています。

名古屋港の潮位は、通常の変動状況にあり、期間中の最低潮位は8月1日の13時に15cm、最高潮位は、8月1日の19時に265cmを記録しました。

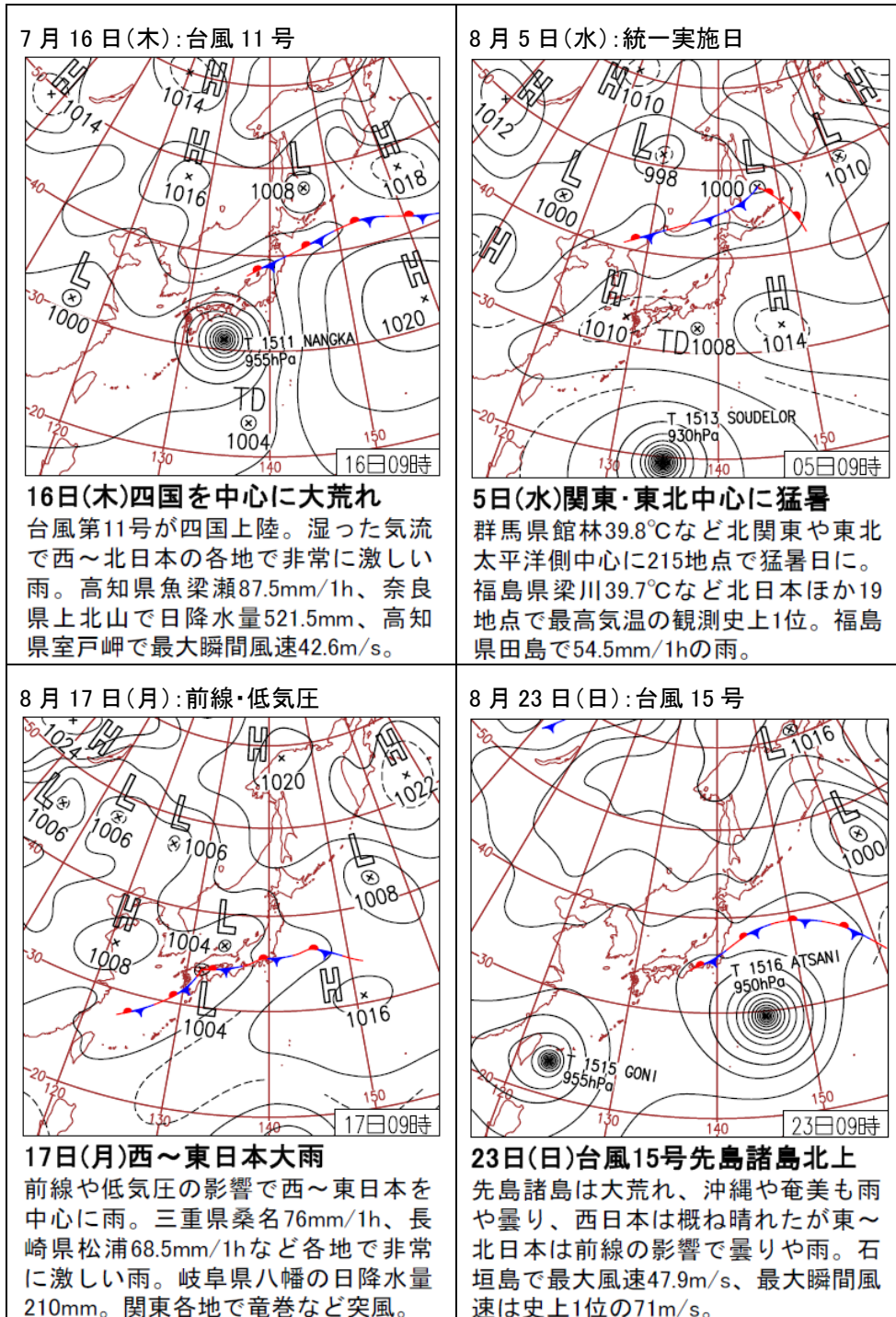


気象庁のデータから作成

図 4 一斉モニタリング時の気象・海象状況②(日照時間・潮位)



一斉モニタリング中の主な天気図を図 5 に示します。7月中旬及び8月中旬から下旬にかけては台風や前線の影響で雨が降りましたが、8月5日の統一実施日前後は晴れて猛暑日が続きました。



気象庁ホームページより

図 5 一斉モニタリング時の主な天気図

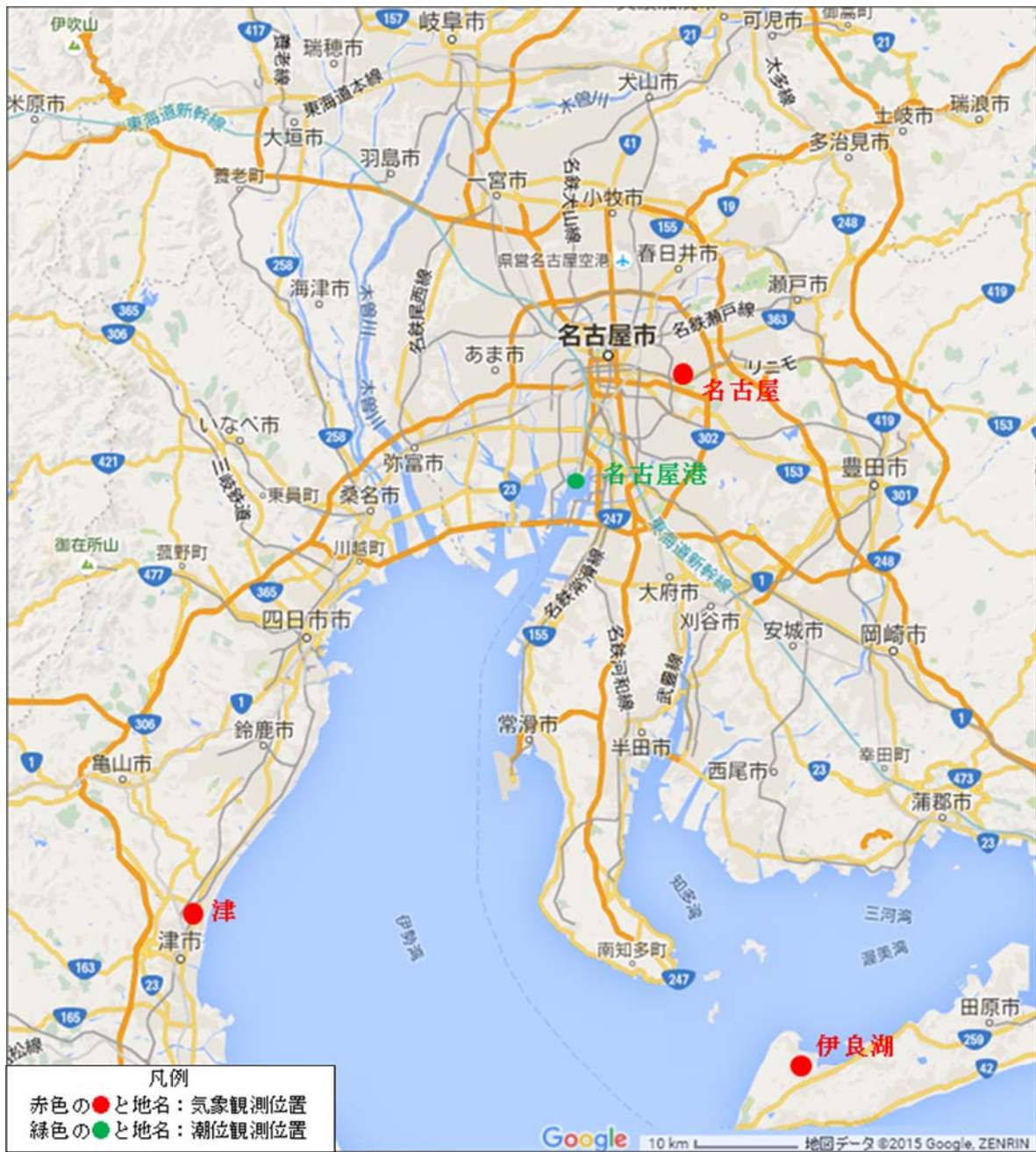


図 6 気象・海象観測位置(赤色の地点と地名は気象観測位置、緑色の地点と地名は潮位観測位置)

### 3. モニタリング調査結果

#### 3.1 分析による水質調査

分析による水質調査では様々な水質項目を調査していますが、一斉モニタリング結果では次の8項目を示します。

- ① BOD（生物化学的酸素要求量）
- ② COD（化学的酸素要求量）
- ③ pH
- ④ 全窒素
- ⑤ 全リン
- ⑥ DO（溶存酸素）
- ⑦ SS（浮遊物質）
- ⑧ 大腸菌群数

<水質指標が示すもの>

①BOD	河川水の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
②COD	湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
③pH	酸性・アルカリ性の程度を示します。pH7が中性、pHが7より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。
④全窒素	水中の窒素の量を示します。窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。
⑤全リン	水中のリンの量を示します。リンは窒素と並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。
⑥DO（溶存酸素）	水中に溶解している酸素量を示し、量が多いほど値が大きくなります。溶存酸素は、水中の生物の呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。
⑦SS（浮遊物質）	水中を漂う濁りの原因となる物質の量を示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
⑧大腸菌群数	大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。水中の大腸菌群数はし尿による汚染の指標として使われています。

# BOD（生物化学的酸素要求量）

河川水の有機物による水の汚れを示します。  
汚れるにつれて値が大きくなります。

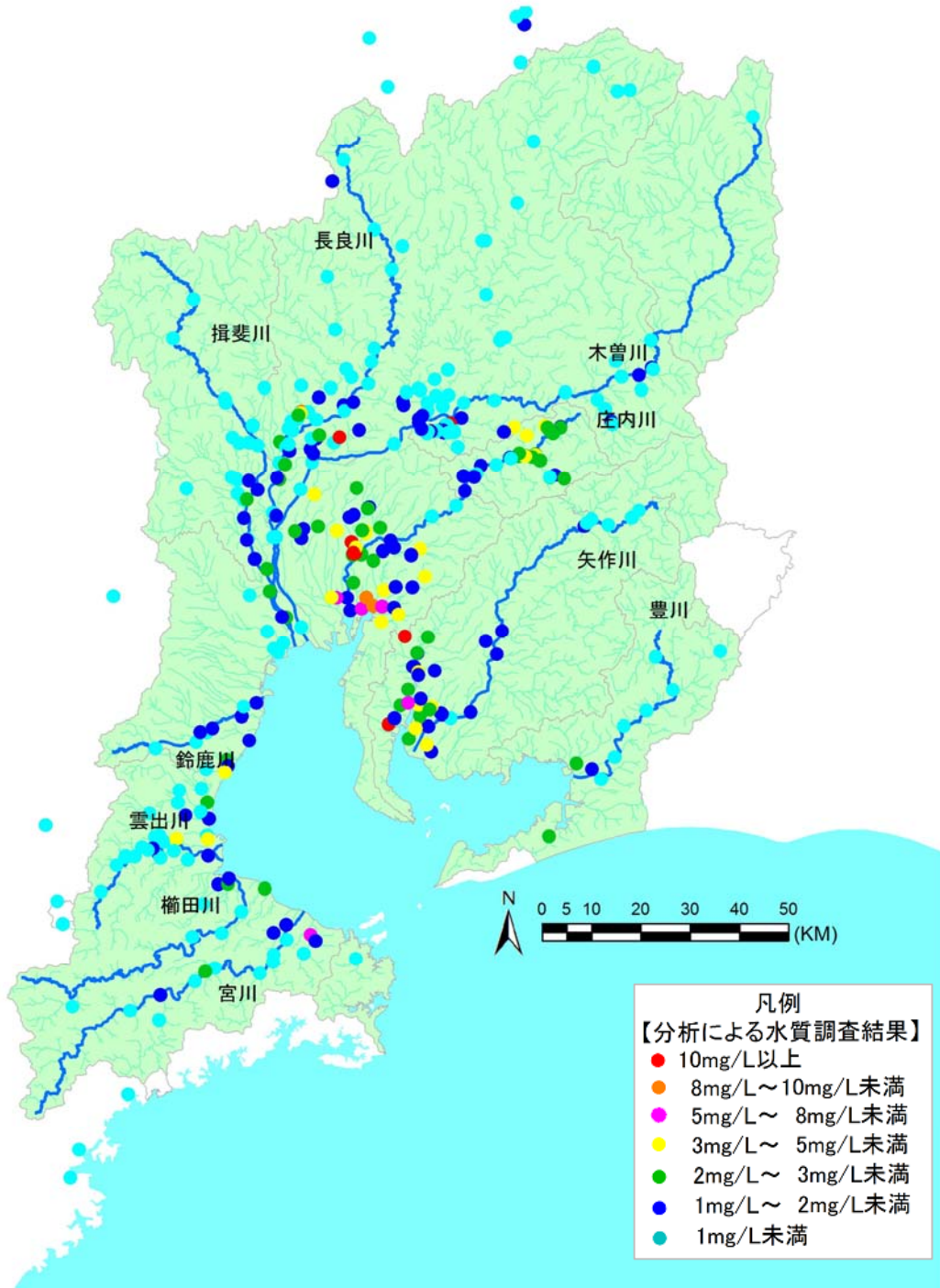


図 7 BOD(分析による水質調査結果)

各河川とも上流のほうは 2mg/L 以下となっていますが、市街地を流れる河川や中小河川で 3mg/L 以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

3mg/L 未満の比較的良好な水質が占める割合は流域全体の 9 割程度を占めており、比較的良好であるといえます。

## COD (化学的酸素要求量)

湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。  
汚れるにつれて値が大きくなります。

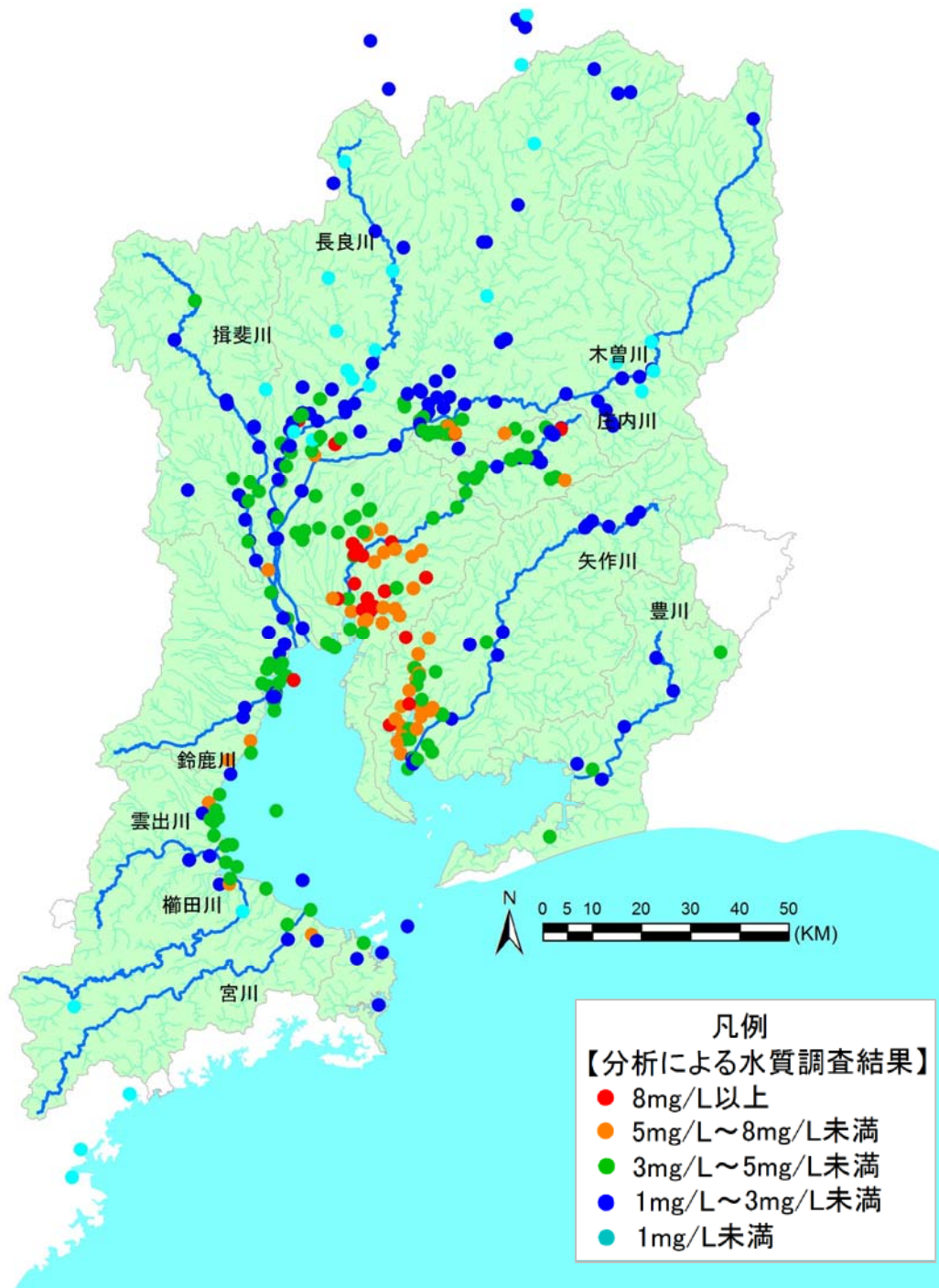


図 8 COD(分析による水質調査結果)

市街地を流れる河川、中小河川において、5mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

5mg/L未満の比較的良好な水質が占める割合は流域全体の8割程度を占めており、比較的良好であるといえます。

# pH

酸性・アルカリ性の程度を示します。pH7 が中性、pH が7より小さければ酸性、大きければアルカリ性です。

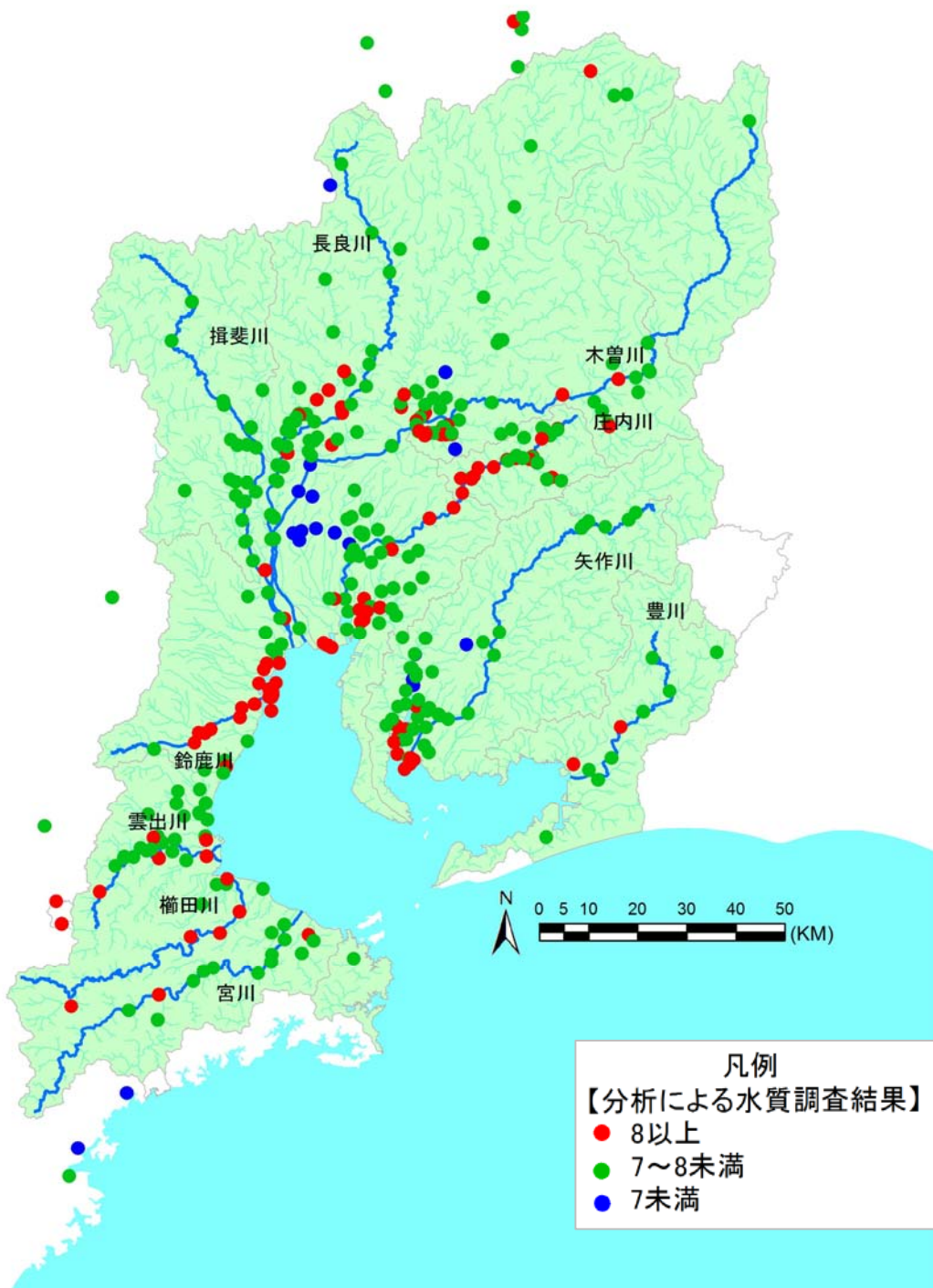


図 9 pH(分析による水質調査結果)

河川では一般的に7付近の中性で、河川の観測値の多くが7付近となっています。河川の一部の地点では8以上のアルカリ性を示していますが、地質などの自然の特性によって高くなることがあります。一方、海のpHは一般的に8前後のアルカリ性を示すため、海の観測値は8以上となっています。

## 全窒素

水中の窒素の量を示します。窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。

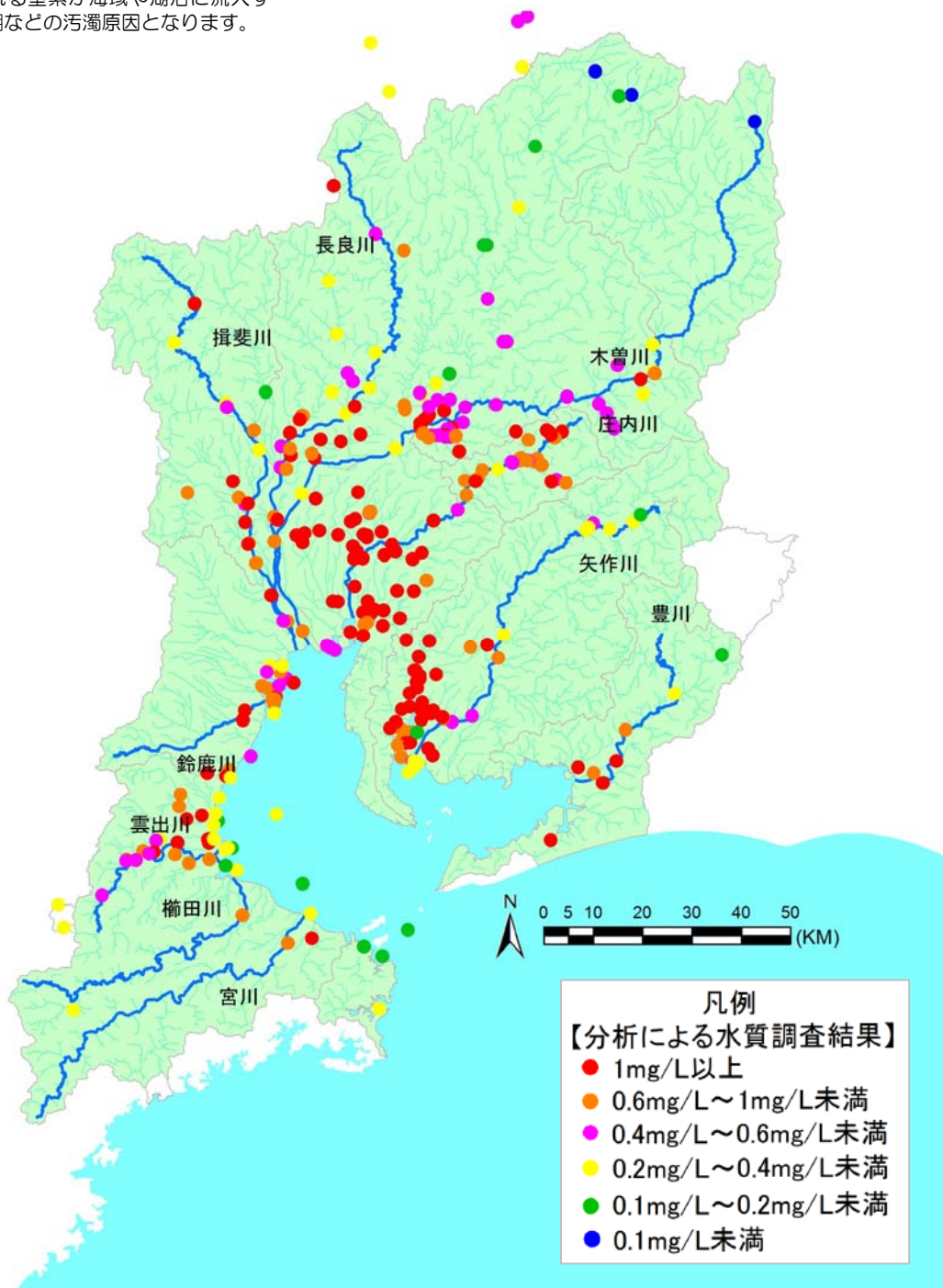


図 10 全窒素(分析による水質調査結果)

多くの河川の中下流部で 0.6 mg/L 以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑から肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。0.6mg/L 未満の比較的良好な水質が占める割合は、4 割程度を占めています。

# 全リン

水中のリンの量を示します。リンは窒素と並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれるリンが海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。

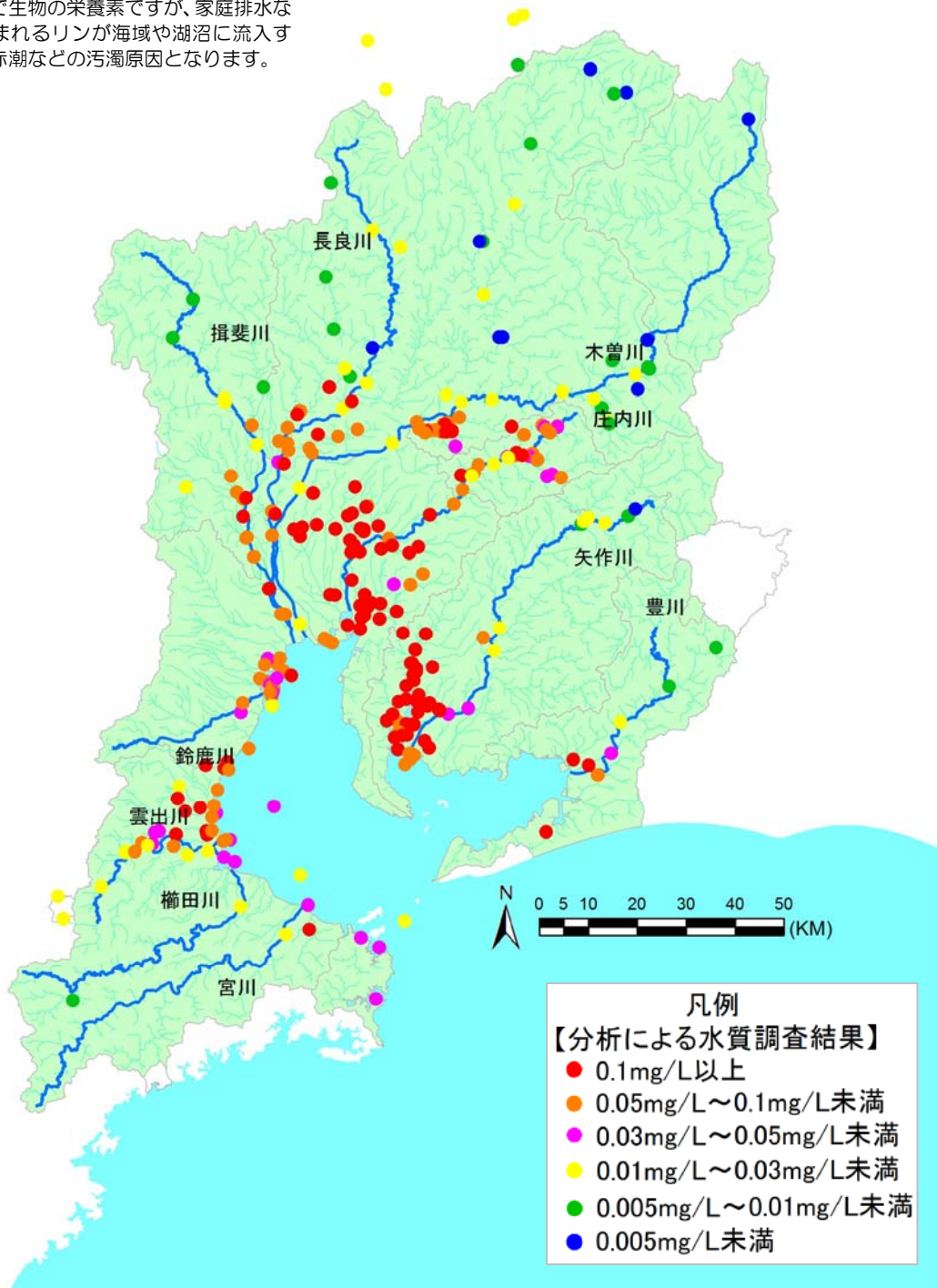


図 11 全リン(分析による水質調査結果)

全窒素と同様に、多くの河川の中下流部で 0.05 mg/L 以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑から肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

0.05mg/L 未満の比較的良好な水質が占める割合は、3 割程度を占めています。



## DO（溶存酸素）

水中に溶解している酸素量を示し、量が多いほど値が大きくなります。溶存酸素は、水中の生物の呼吸などに使われるので、欠乏すると魚介類のへい死や水の腐敗が起こります。

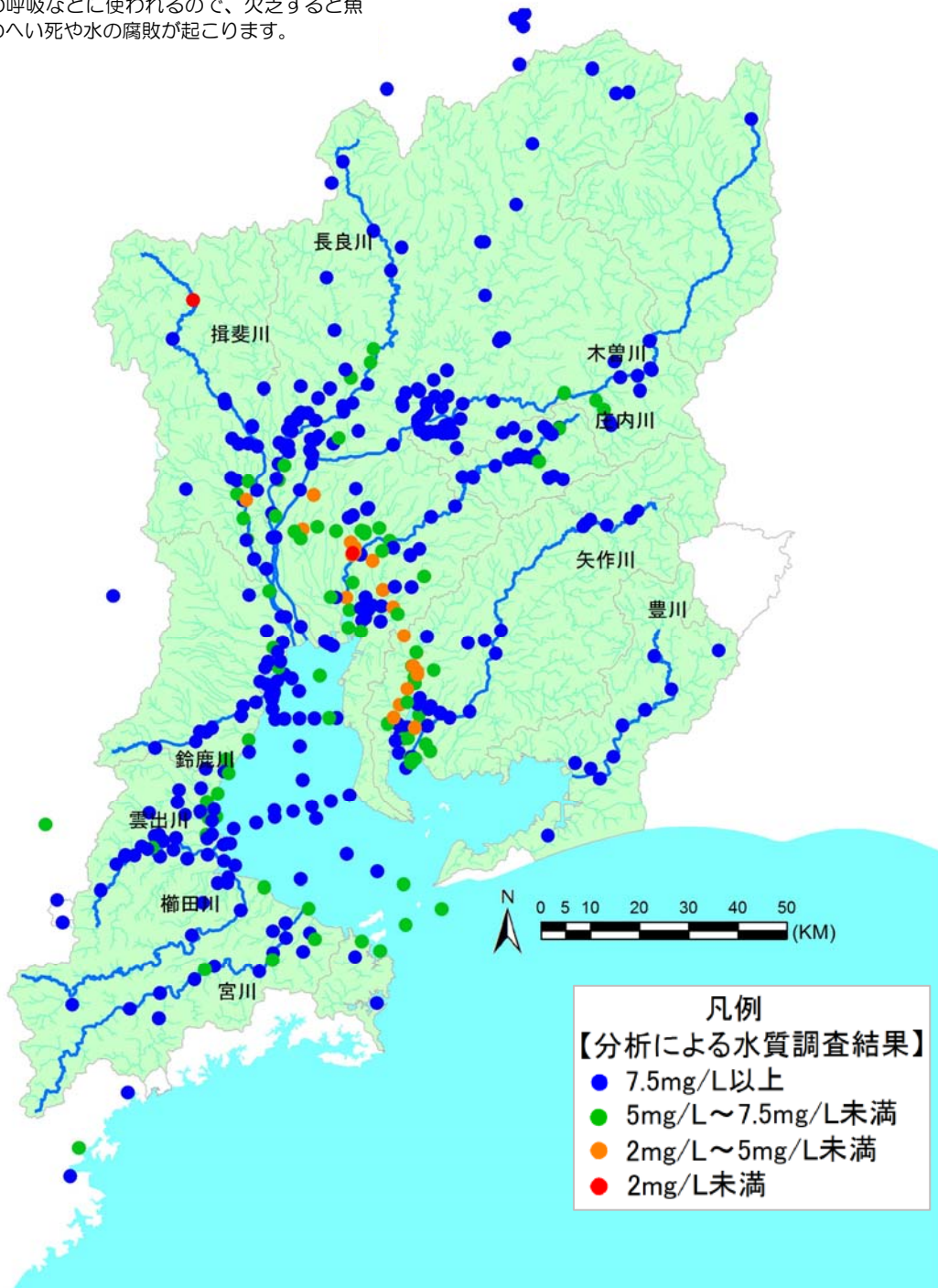


図 12 DO(分析による水質調査結果)

一級河川（太い青線）では比較的高いですが、市街地を流れる中小河川で低い箇所も見られ、酸素不足による水中の生物への影響や水の腐敗（におい）などが懸念されます。

（※海域は海面付近の値を示しています。海域の水深方向の分布については、「伊勢湾の溶存酸素濃度状況（参考）」にてご確認ください。）

## SS（浮遊物質）

水中を漂う濁りの原因となる物質の量を示します。汚れるにつれて値が大きくなります。

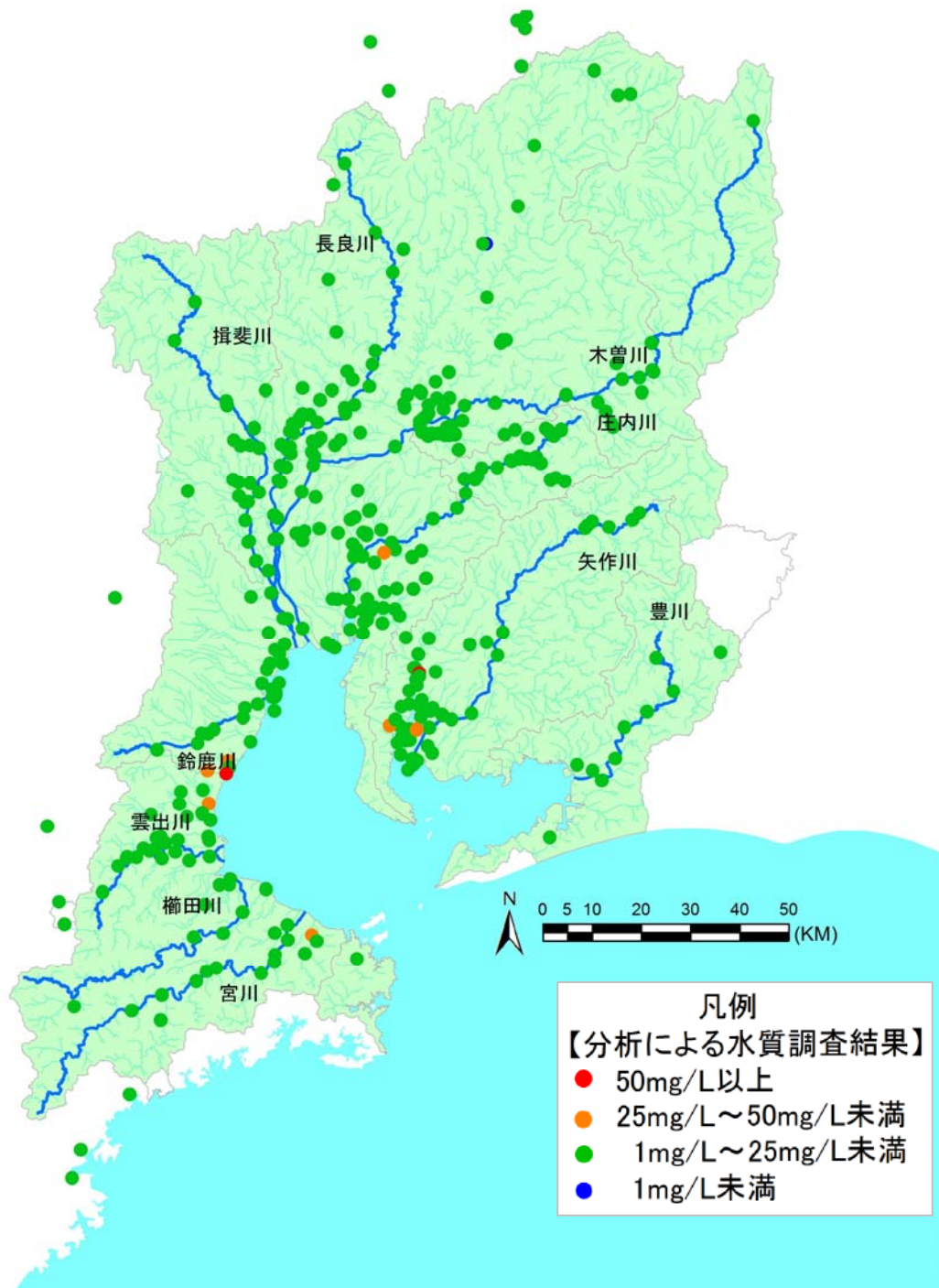


図 13 SS(分析による水質調査結果)

多くの観測地点は、25mg/L以下となっており、河川の環境基準A類型に適合する水質であるため、水の濁りは少ないといえます。

## 大腸菌群数

大腸菌や大腸菌と性質が似ている細菌の数を示します。水中の大腸菌群数はし尿による汚染の指標として使われています。



図 14 大腸菌群数(分析による水質調査結果)

1000MPN/100ml 以上の値を観測している地点が見られます。し尿等による人為的由来によるものの他に、自然の土壌由来のものが含まれる場合もあるため、継続した監視が必要と考えられます。

### 3.2 簡易水質テスト結果

参加者の方々には、様々な項目で調査していただきました。

<p>&lt;モニタリング調査項目&gt;</p> <p>水温、COD（化学的酸素要求量）、<math>\text{NH}_4^+\text{-N}</math>（アンモニウム態窒素）、<math>\text{NO}_2^-\text{-N}</math>（亜硝酸態窒素）、<math>\text{NO}_3^-\text{-N}</math>（硝酸態窒素）、<math>\text{PO}_4^{3-}\text{-P}</math>（リン酸態リン）、天気、モニタリング地点の状況（ゴミの状況等）、生き物、水において、水の色、水量（量、速さ）</p>
--

その中で、調査地点数が多く、伊勢湾流域圏の水質の汚染状況を示す、COD（化学的酸素要求量）、 $\text{NH}_4^+\text{-N}$ （アンモニウム態窒素）、 $\text{NO}_2^-\text{-N}$ （亜硝酸態窒素）、の  $\text{NO}_3^-\text{-N}$ （硝酸態窒素）、 $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ （リン酸態リン）、見た目の水のきれいさの結果を図 15～図 20 に示しました。

#### <水質指標が示すもの>

①COD	湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。汚れるにつれて値が大きくなります。
② $\text{NH}_4^+\text{-N}$	窒素はリンと並んで生物の栄養素ですが、家庭排水などに含まれる窒素が海域や湖沼に流入すると、赤潮などの汚濁原因となります。 $\text{NH}_4^+\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つです。濃度が高い場合、生活排水や工場排水あるいは田畑から肥料分が流れていると考えられます。
③ $\text{NO}_2^-\text{-N}$	$\text{NO}_2^-\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つです。不安定な物質ですが、pH等の状況や窒素肥料の施肥量が多いと濃度が高くなる場合があります。
④ $\text{NO}_3^-\text{-N}$	$\text{NO}_3^-\text{-N}$ は、窒素の主な形態の一つです。きれいな水は $\text{NO}_3^-\text{-N}$ の割合が高く、汚れた水は $\text{NH}_4^+\text{-N}$ の割合が高くなります。ただし、 $\text{NO}_3^-\text{-N}$ が多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では、 $\text{NO}_2^-\text{-N}$ と $\text{NO}_3^-\text{-N}$ の合計が10mg/L以下と設定されています。
⑤ $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$	$\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ は、リンの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸により供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれ、海水や湖沼水中に $\text{PO}_4^{3-}\text{-P}$ が増加すると、赤潮などの汚濁原因となります。

# COD（化学的酸素要求量）

湖沼や海域の有機物による水の汚れを示します。  
汚れるにつれて値が大きくなります。

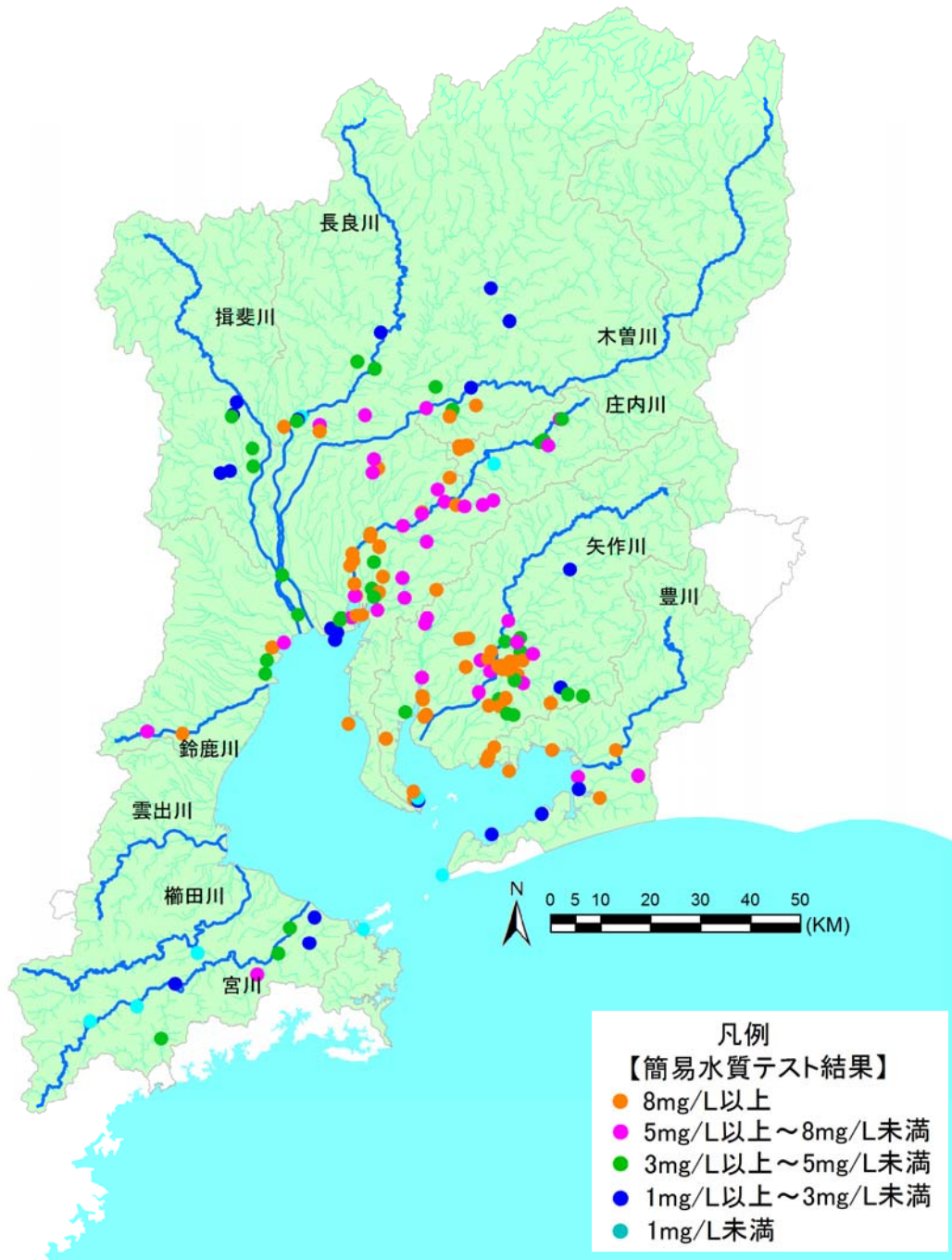


図 15 COD(簡易水質テスト結果)

市街地を流れる河川、中小河川において、5mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

5mg/L未満の比較的良好な水質が占める割合は流域全体の4割程度ですが、平成25年度以前と比較して昨年度（平成26年度）以降は改善傾向にあります。



## NO<sub>2</sub><sup>-</sup>-N(亜硝酸態窒素)

NO<sub>2</sub><sup>-</sup>-N は、窒素の主な形態の一つです。不安定な物質ですが、pH 等の状況や窒素肥料の施肥量が多いと濃度が高くなる場合があります。



図 17 NO<sub>2</sub><sup>-</sup>-N(簡易水質テスト結果)

市街地を流れる河川、中小河川において、0.007mg/L 以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

0.007mg/L 未満の比較的良好な水質が占める割合は、経年的に 3～4 割程度で推移しています。

## NO<sub>3</sub><sup>-</sup>-N (硝酸態窒素)

NO<sub>3</sub><sup>-</sup>-Nは、窒素の主な形態の一つです。きれいな水はNO<sub>3</sub><sup>-</sup>-Nの割合が高く、汚れた水はNH<sub>4</sub><sup>+</sup>-Nの割合が高くなります。ただし、NO<sub>3</sub><sup>-</sup>-Nが多量に存在すると人の健康に影響を与えるため、水道水の水質基準では、NO<sub>2</sub><sup>-</sup>-NとNO<sub>3</sub><sup>-</sup>-Nの合計が10mg/L以下と設定されています。

窒素のうち最も量の多い形態であり、伊勢湾に流出すると富栄養化（藻類の異常発生）の原因の一つになります。



図 18 NO<sub>3</sub><sup>-</sup>-N(簡易水質テスト結果)

市街地を流れる河川、中小河川において、1.2mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

1.2mg/L未満の比較的良好な水質の占める割合は8割程度と高く、平成24年度以前と比較して改善傾向にあります。



## PO<sub>4</sub><sup>3-</sup>-P (りん酸態りん)

PO<sub>4</sub><sup>3-</sup>-Pは、りんの主な形態の一つです。植物の生育に必要な要素であり、生物の死骸により供給されますが、生活排水、肥料にも多く含まれ、海水や湖沼水中にPO<sub>4</sub><sup>3-</sup>-Pが増加すると、赤潮などの汚濁原因となります。りんのうち最も量の多い形態であり、伊勢湾に流出すると富栄養化（藻類の異常発生）の原因の一つになります。



図 19 PO<sub>4</sub><sup>3-</sup>-P(簡易水質テスト結果)

市街地を流れる河川、中小河川において、0.11mg/L以上の高い値が観測されています。一般的には、生活排水や田畑からの肥料分の流出、畜産排水等により、濃度が高くなっていると考えられます。

0.11mg/L未滿の比較的良好な水質の占める割合は8割程度と高く、昨年度（平成26年度）や平成24年度以前と比較して改善傾向にあります。

# 水のきれいさ

調査を実施したときの水のきれいさについて、5段階（（悪い）1・2・3・4・5（良い））で評価しています。調査をした方が感じた調査地点の水の印象を示す指標です。



図 20 見た目の水のきれいさ

市街地を流れる河川の一部や、湾奥部でも4以上の比較的水がきれいという評価がされており、見た目の印象は、COD等の調査結果よりもやや良い結果となっています。

また、一部の観測地点において、3未満の比較的悪い評価が見られますが、流域全体としては9割程度が3以上の比較的きれいな水との評価が多く、その割合は昨年度より改善しています。

### 3.3 調査状況写真

【団体名：岐阜県岐南町建設課】

調査日：平成 27 年 8 月 7 日



岐阜県羽島郡岐南町下印食4丁目 地内  
木曾川水系 一級河川 境川



川面状況



採水 水質状況



水温  
29.5℃

気温  
34.1℃



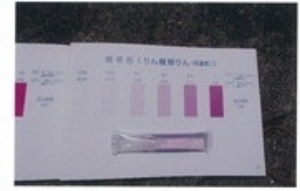
COD (8mg/L)



NH<sub>4</sub> (0.2mg/L)



NO<sub>2</sub> (0.005mg/L)



NO<sub>3</sub> (0.5mg/L)



PO<sub>4</sub> (0.05mg/L)



生物捕獲状況



バックテストによる  
水質試験状況



小魚



アメンボ



調査員

【団体名：岐阜県御嵩町】

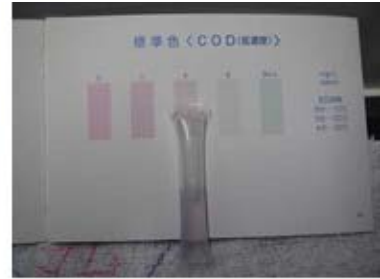
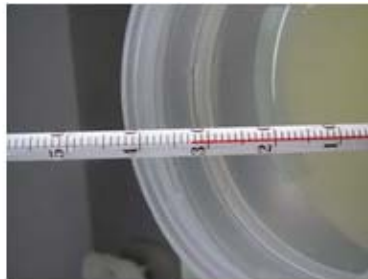
調査日：平成 27 年 7 月 30 日



【団体名：第四管区海上保安本部警備救難部環境防災課(1/2)】

調査日：平成 27 年 8 月 5 日

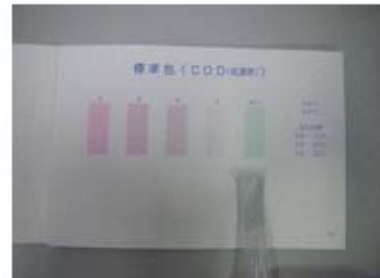
名古屋港



四日市港



セントレア港



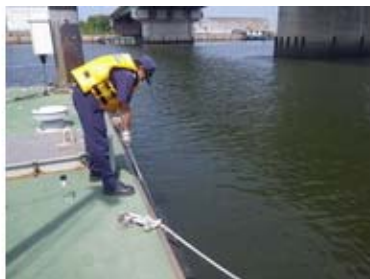
衣浦港



【団体名：第四管区海上保安本部警備救難部環境防災課(2/2)】

調査日：平成 27 年 8 月 5 日

三河港



鳥羽港



伊良湖港



【団体名：土岐市生活学校(土岐市)】

調査日：平成 27 年 7 月 31 日



鶴里町中沢地区  
(妻木川上流)



土岐津町御幸橋下流  
(妻木川下流)



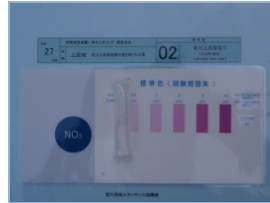
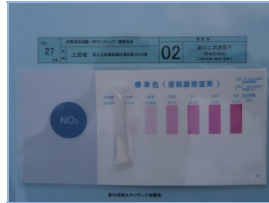
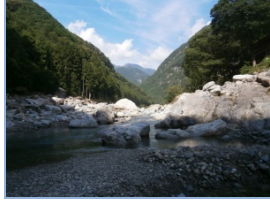
土岐津町御幸橋下流  
(妻木川下流)

【団体名：宮川流域ルネッサンス協議会（1/3）】

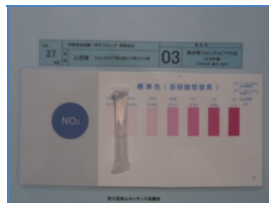
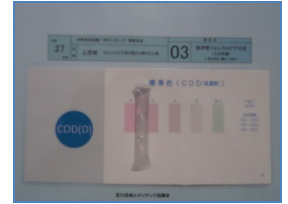
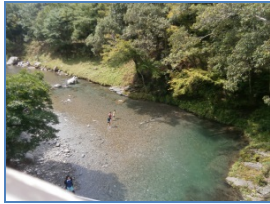
調査日：平成 27 年 8 月 7 日

宮川上流域

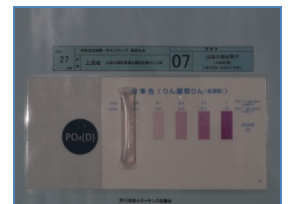
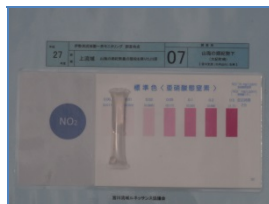
宮川上流漁協下（宮川：大台町滝谷）



奥伊勢フォレストピア付近（菌川：大台町菌）



山海の郷紀勢下（大内山川：大紀町崎）



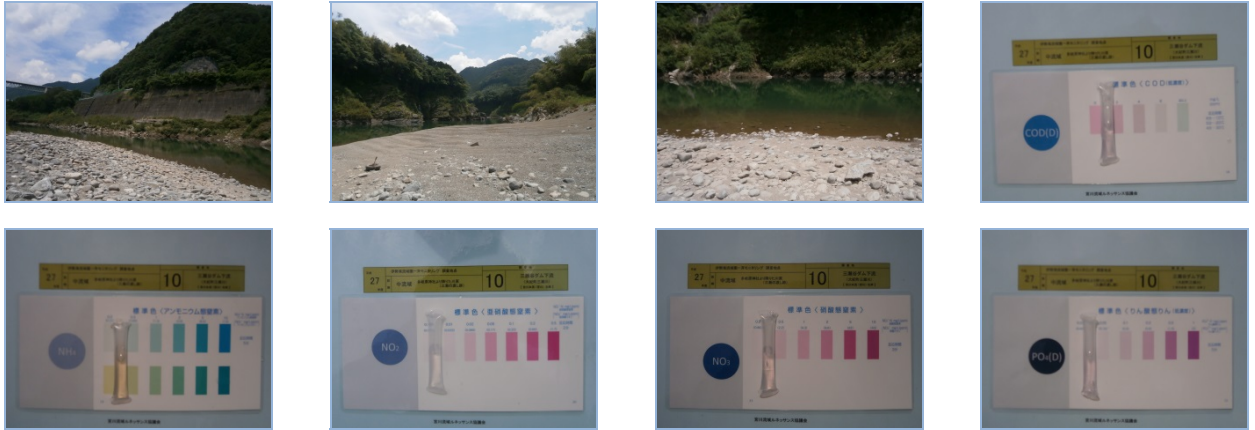


【団体名：宮川流域ルネッサンス協議会（2/3）】

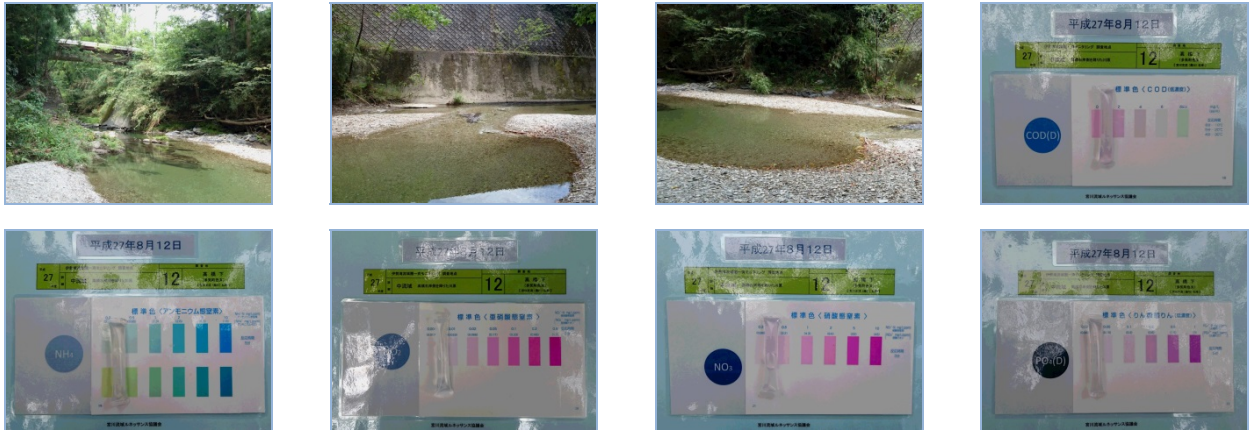
調査日：平成27年8月6、7、12日

宮川中流域

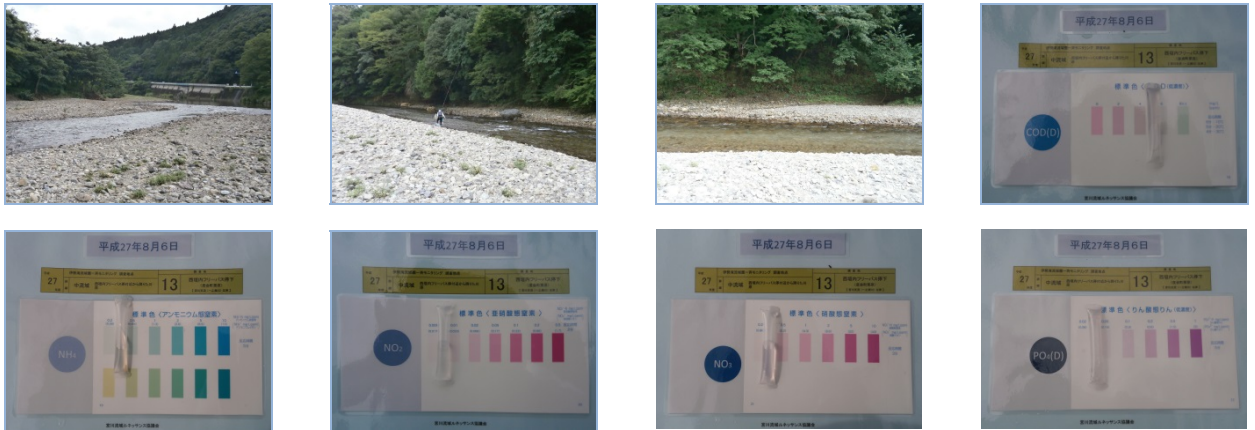
三瀬谷ダム下流（宮川：大紀町三瀬川）



高橋下（濁川：多気町色太）



西垣内フリーバス停下（一之瀬川：度会町栗原）

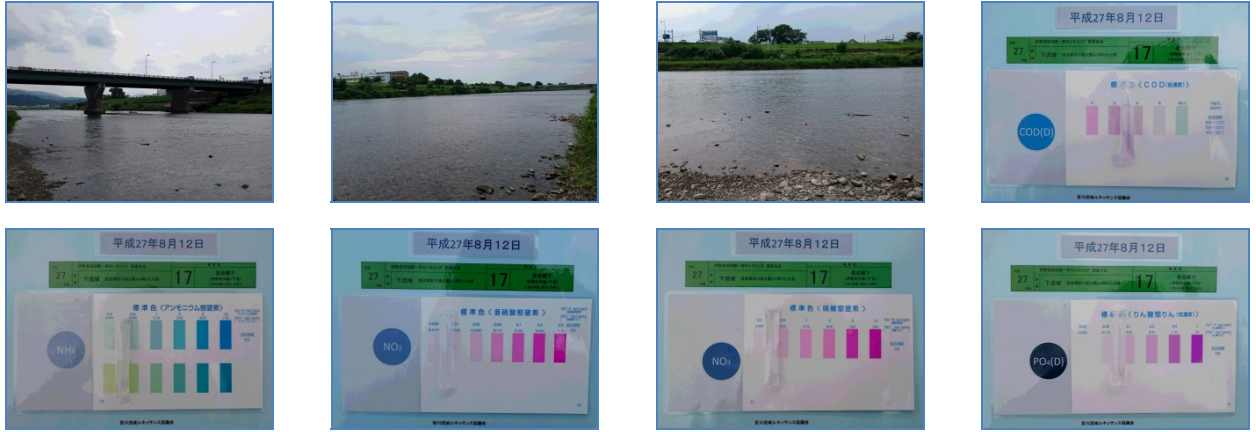


【団体名：宮川流域ルネッサンス協議会（3/3）】

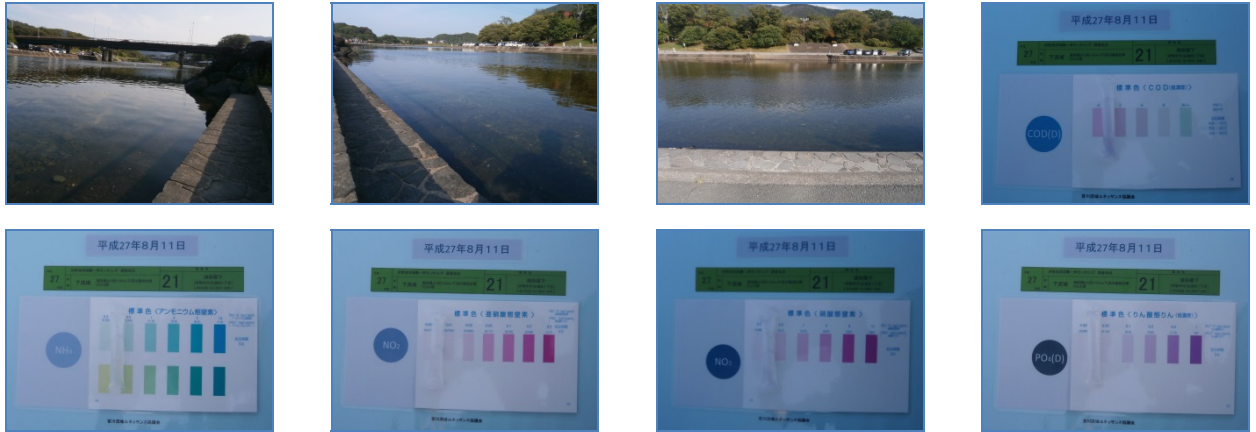
調査日：平成27年8月6、11、12日

宮川下流域

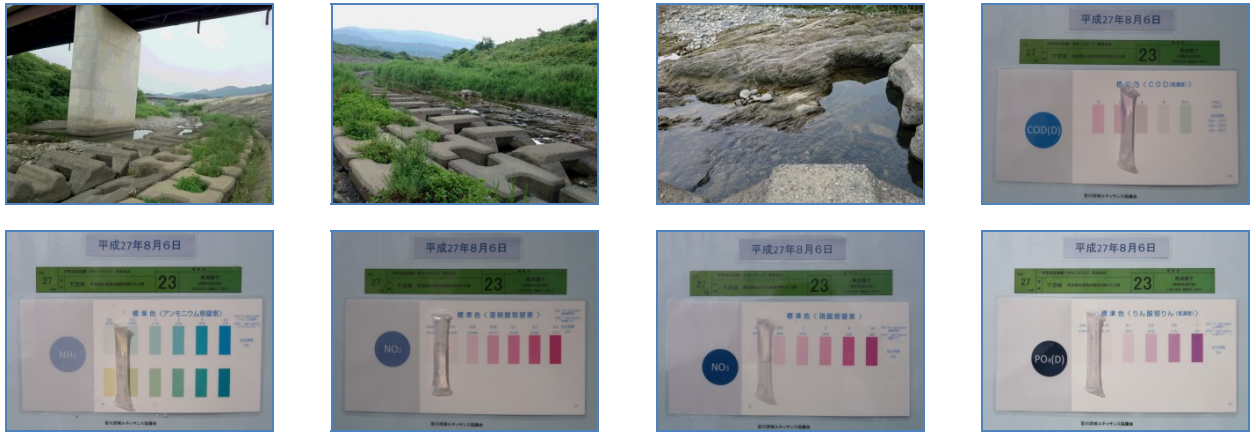
度会橋下（宮川：伊勢市中島1丁目）



浦田橋下（五十鈴川：伊勢市浦田町）



馬渕橋下（横輪川：伊勢市津村町）



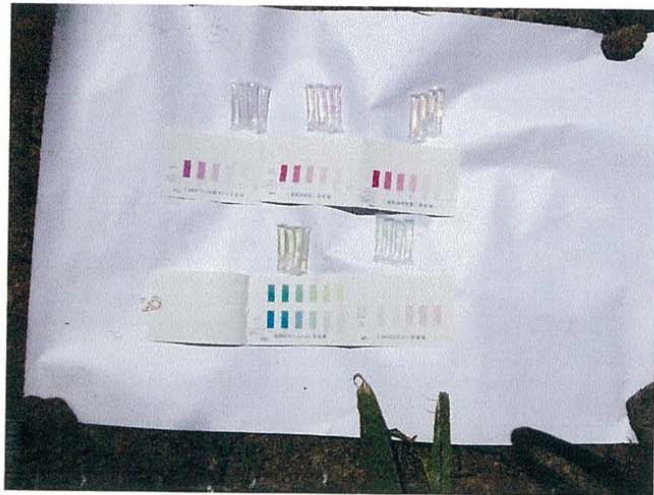
【団体名：イーツワン（環境 21 期会）】

調査日：平成 27 年 8 月 5 日



【団体名：生田川マモロード会】

調査日：平成 27 年 8 月 2 日



モニタリングの様子



生態調査した一部

【団体名：NPO 法人伊勢湾フォーラム(1/2)】

調査日：平成 27 年 8 月 7 日



【団体名：NPO 法人伊勢湾フォーラム(2/2)】

調査日：平成 27 年 8 月 7 日



【団体名：内部地区社会福祉協議会（四日市公害と環境未来館）】

調査日：平成 27 年 8 月 8 日



【団体名：内山川ホタルを守る会（グラウンドワーク東海）】

調査日：平成 27 年 8 月 2 日





【団体名：扇川を愛する緑の会(1/3)】

調査日：平成 27 年 8 月 2 日

伊勢湾流域圏一斉モニタリング(扇川:満潮時)



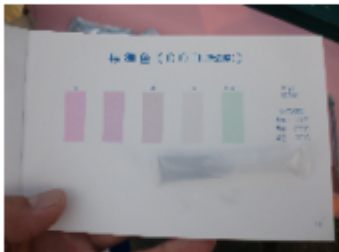
扇川上流



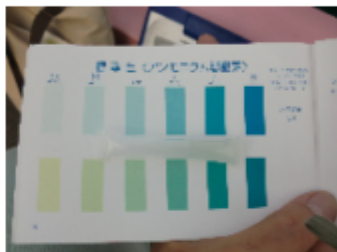
扇川下流



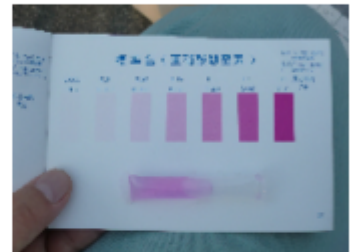
モニタリング状況



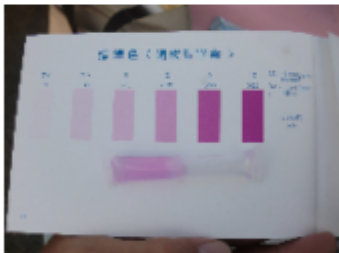
COD(低濃度)



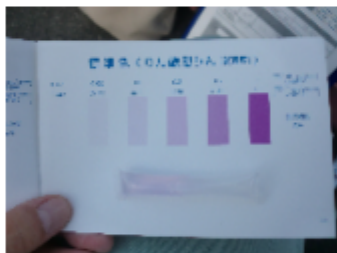
NH4



NO2



NO3



PO4



pH



空き缶、上流で散ったエンジュの花？



ミシシippアカミミガメ  
体調20cm

【団体名：扇川を愛する緑の会(2/3)】

調査日：平成 27 年 8 月 2 日

伊勢湾流域圏一斉モニタリング(扇川:干潮時)



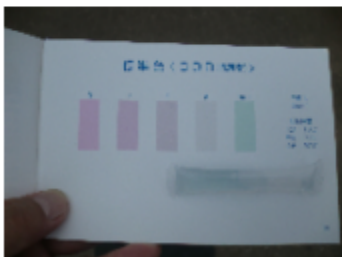
扇川上流



扇川下流



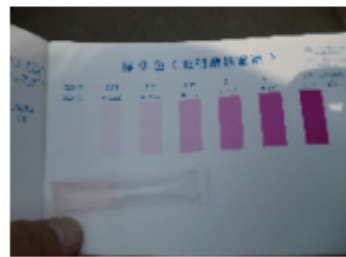
モニタリング状況



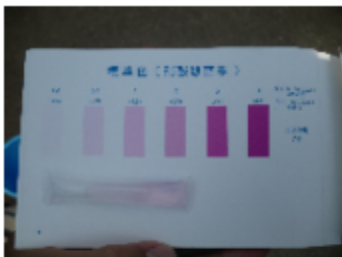
COD(低濃度)



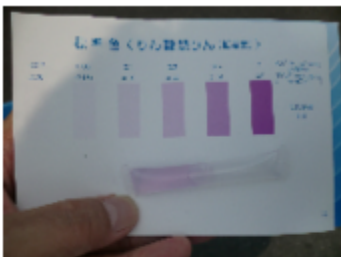
NH4



NO2



NO3



PO4



pH



投げ込み自転車、アオサギ



ボラをねらうアオサギ



ボラの群れ

【団体名：扇川を愛する緑の会(3/3)】

調査日：平成 27 年 8 月 2 日

伊勢湾流域圏一斉モニタリング(扇川源流:大池)



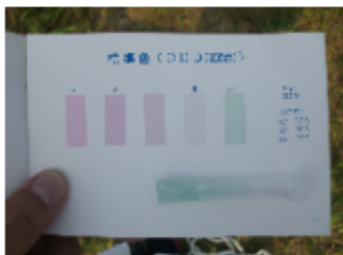
扇川源流(大池)



採水地点



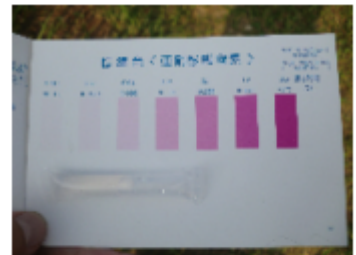
モニタリング状況



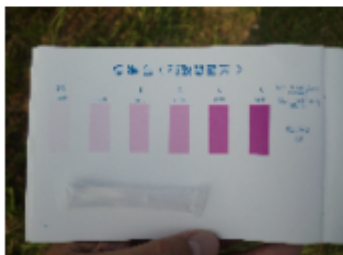
COD(低濃度)



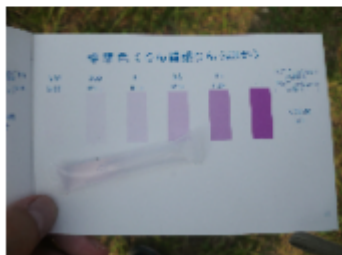
NH4



NO2



NO3



PO4



pH



左奥にガマの群生、右奥はヒシの群生



流出口付近(ビニルごみ、ヒシ)



扇川

【団体名：大井まちづくり協議会 スナメリの海】

調査日：平成 27 年 7 月 26 日

2-1



モニタリング調査スタッフ



視遠橋（調査地点）



聖崎公園海岸（調査地点）



鳶ヶ崎海岸（調査地点）



海田川（調査地点）



水温測定

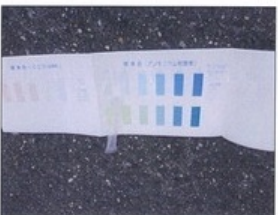
2-2



透視度測定



試薬測定



試薬測定



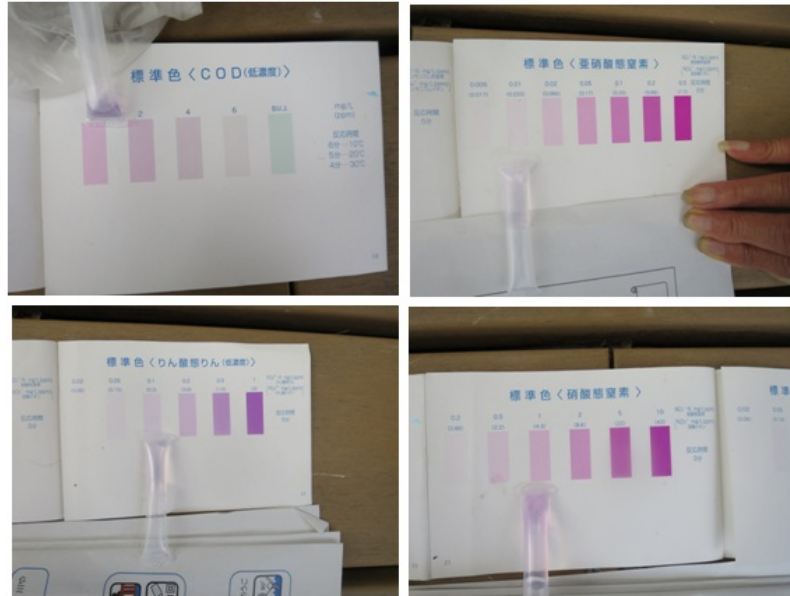
試薬測定



測定記録

【団体名：大垣市生活学校】

調査日：平成 27 年 8 月 4 日



8月4日（火） AM9：30 水門川食船神社前



6月4日（木） 水門川 むすびの地記念館橋



8月4日（火） 水門川 食船神社橋

7月12日（日） 杭瀬川 上笠周辺

【団体名：小里川ダム里山教室 (1/2)】

調査日：平成 27 年 8 月 4 日



H27 年度モニタリング調査隊 (+ 撮影者)



明德橋上流方面



明德橋下流方面



化学的酸素要求量 COD 4 mg/L



アンモニウム態窒素 0.3 mg/L\*ほぼきれい



亜硝酸態窒素 0.005mg/L\*きれい



硝酸態窒素 0.3 mg/L\*きれい



りん酸態りん 0.02 mg/L\*きれい



モニタリング水質調査



ザリガニ、カワエビ、クロカワムシ



孕子橋小里川上流方面



孕子橋小里川下流方面



化学的酸素要求量 COD 6 mg/L\*少し多い



アンモニウム態窒素 0.2 mg/L\*きれい



亜硝酸態窒素 0.005 mg/L\*きれい



硝酸態窒素 0.2 mg/L\*すくない



りん酸態りん 0.07 mg/L\*少し多い



水生生物採取



カワエビ、ザリガニ、クロカワムシ、ヨシノボリ、カワムツ、亀 (逃げた)

【団体名：小里川ダム里山教室 (2/2)】

調査日：平成 27 年 8 月 4 日



【団体名：かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議】

調査日：平成 27 年 8 月 8 日





【団体名：公益財団法人河川財団（1/2）】

調査日：平成 27 年 8 月 11 日

【庄内川】

・調査地点の状況写真



・ゴミの状況写真



ゴミの状況 (本際)



ゴミの状況 (川面)

・簡易テスト比色時の写真



COD



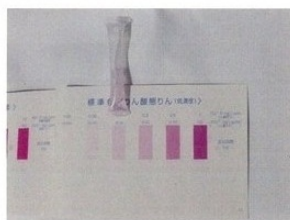
NH4



NO2



NO3



PO4

【団体名：公益財団法人河川財団(2/2)】

調査日：平成 27 年 8 月 5 日

【木曽川】

・調査地点の状況写真



・ゴミの状況写真



ゴミの状況 (水際)



ゴミの状況 (川面)

・簡易テスト比色時の写真



COD



NH4



NO2



NO3



PO4

【団体名：金山町生活学校（1/2）】

調査日：平成27年7月7日/7月28日/8月9日

【菅田川】

採取場所

(下呂市金山町菅田桐洞 菅田橋下)



調査項目

(水質測定)

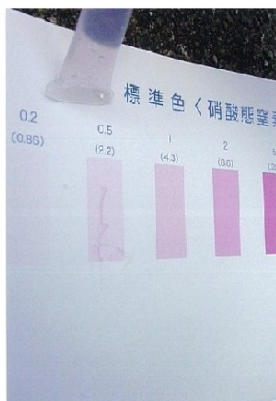
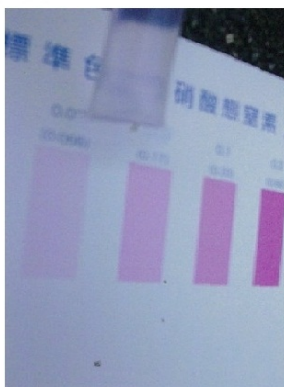


長洞谷と長洞谷周辺（金山町中宮地区）

【団体名：金山町生活学校 (2/2)】

調査日：平成 27 年 8 月 5 日

【飛騨川】



【団体名：可児市めだかの楽校】

調査日：平成27年8月8日



「川は汚い！ トンネルのヤブ、エビ、メダカも少なくなりました。トビや雀も、まじもたりの数が、昔まじもたりの可児川、川の生き物も少なくなりました。」



何も採取しなかった！ 水生生物の生かされ。—— 2015年8月9日 可児市総合公民館 会議室

【団体名：亀山の自然を愛する会】

調査日：平成27年8月5日



【団体名：NPO 法人木曾三川ごみの会】

調査日：平成 27 年 8 月 7 日



【団体名：楠地区まちづくり協議会（四日市公害と環境未来館）】

調査日：平成 27 年 8 月 2 日





【団体名：清水川を愛する会】

調査日：平成 27 年 8 月 23 日



【団体名：十四川を守る会】

調査日：平成27年8月5日

調査場所・・・十四川河口（豊栄橋）



田邊1号線から豊栄橋(十四川河口方向)を望む



豊栄橋と高瀬防制水門



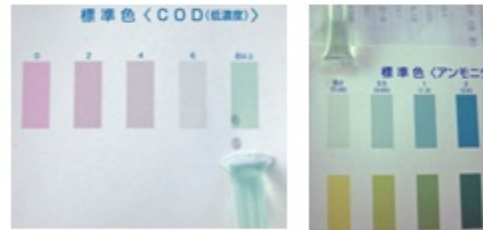
測定準備状況



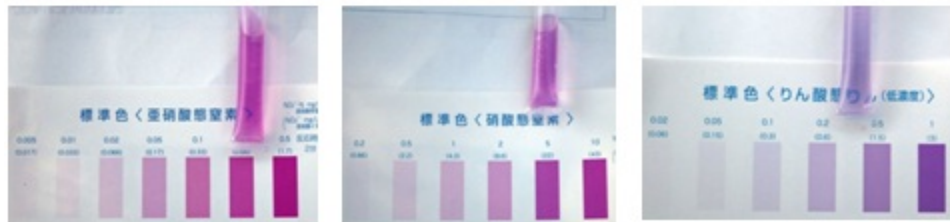
豊栄橋上からのサンプル水採取状況



水温測定



バック比較テスト結果



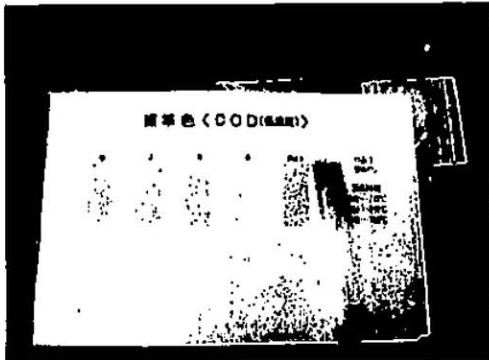
十四川河口水(左)と水遊水(左)との比較



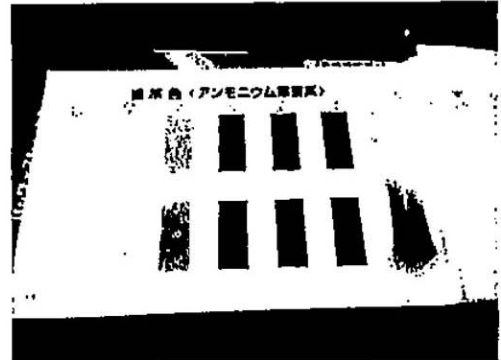
測定を終えて

【団体名：白鳥庭園】

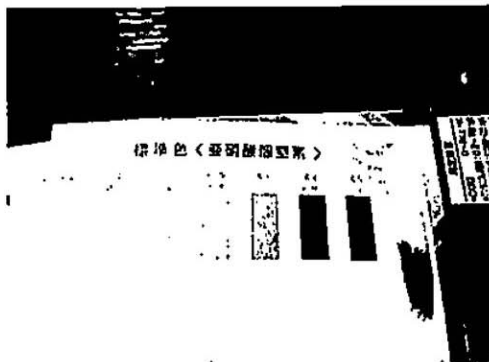
調査日：平成 27 年 7 月 30 日



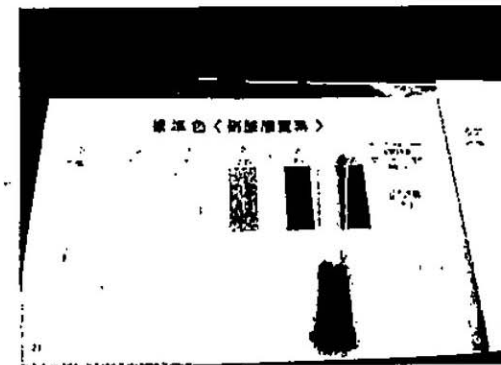
COD 結果



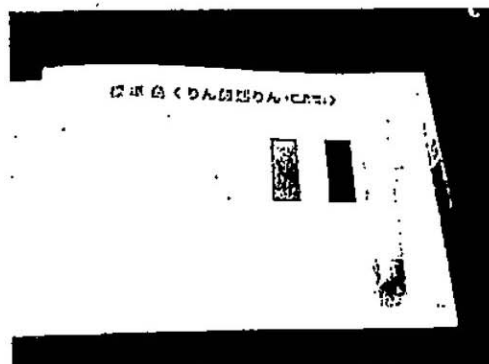
NH4 結果



NO2 結果



NO3 結果



PO4 結果

【団体名：NPO 法人神社みなとまち再生グループ】

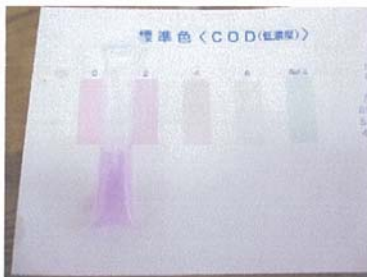
調査日：平成 27 年 8 月 8 日

1. 測定場所 海の駅神社前ポンツーン 勢田川河口



2. 測定結果

COD



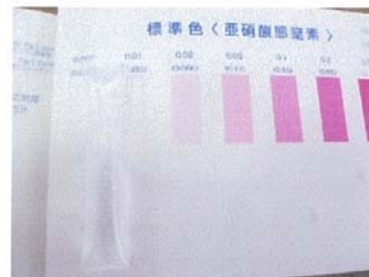
アンモニウム態窒素



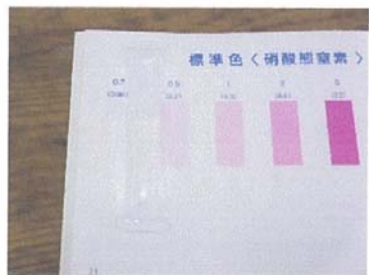
りん酸態りん



亜硝酸態窒素



硝酸態窒素



【団体名：ステイッチ】

調査日：平成 27 年 7 月 25 日



ハイカモ



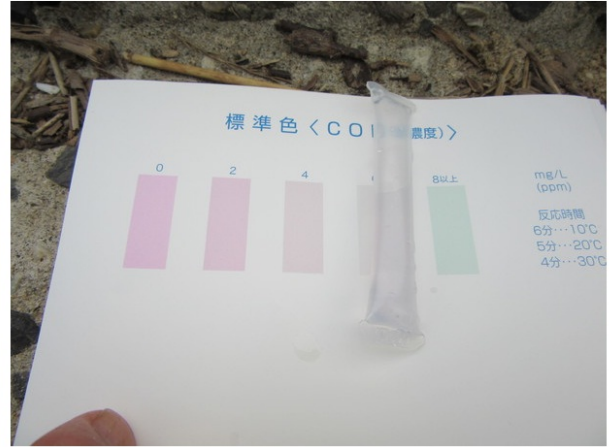
泡か目立ち草



名前不明

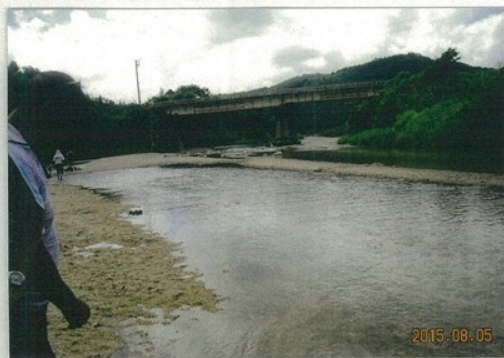
【団体名：高松干潟を守ろう会】

調査日：平成 27 年 8 月 3 日



【団体名：地球クラブ】

調査日：平成 27 年 8 月 5 日



【団体名：NPO 法人藤前干潟を守る会】

調査日：平成 27 年 8 月 4 日/8 月 6 日

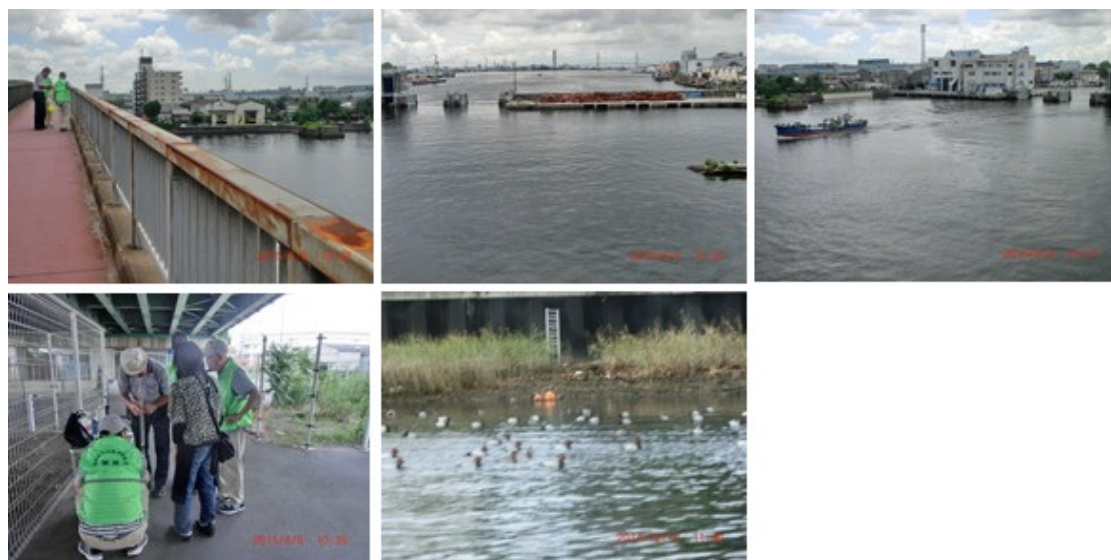
【庄内川】



【新川】



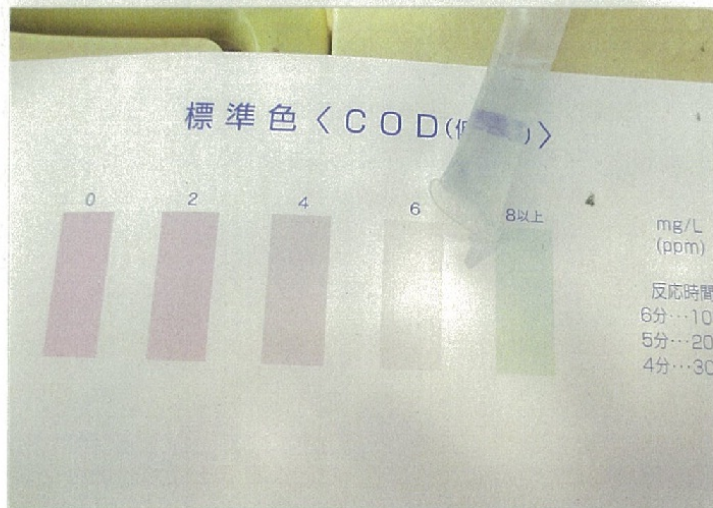
【堀川】





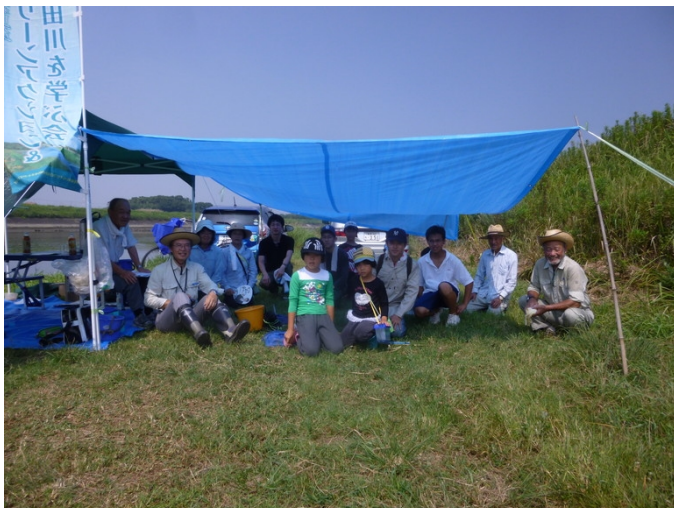
【団体名：別所団地西鹿乗川美化クラブ】

調査日：平成 27 年 8 月 1 日



【団体名：まいバンク協議会(梅田川フォーラム)】

調査日：平成 27 年 8 月 1 日



【団体名：松並木つくり隊】

調査日：平成 27 年 8 月 2 日



【団体名：みどりのまちづくりグループ】

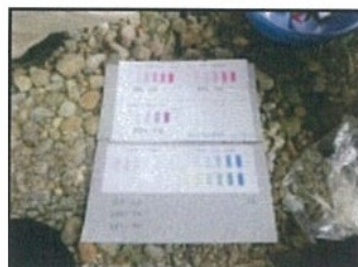
調査日：平成 27 年 8 月 11 日



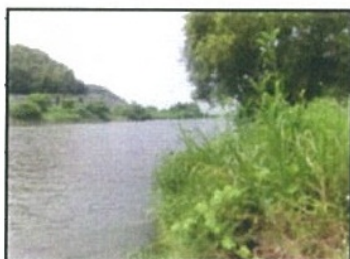
大谷川源流



五反田橋



泉橋（大谷川、内津川合流）



庄内川上条河畔林

【団体名：養老町生活と環境を考える会(1/2)】

調査日：平成 27 年 7 月 31 日

【牧田川】



【団体名：養老町生活と環境を考える会(2/2)】

調査日：平成 27 年 8 月 1 日

【小畑川】



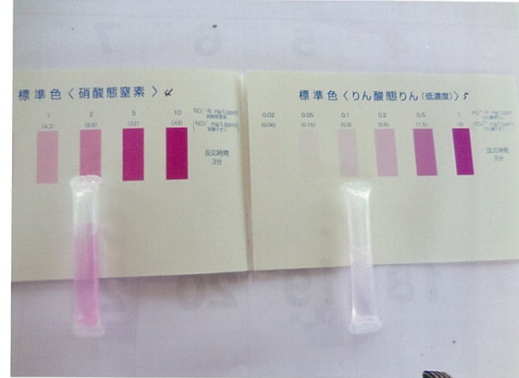
【団体名：四つ葉会】

調査日：平成 27 年 8 月 5 日

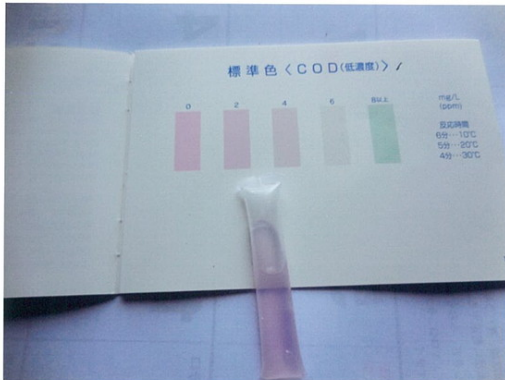
東川



中川



東川



抗瀬川



中川

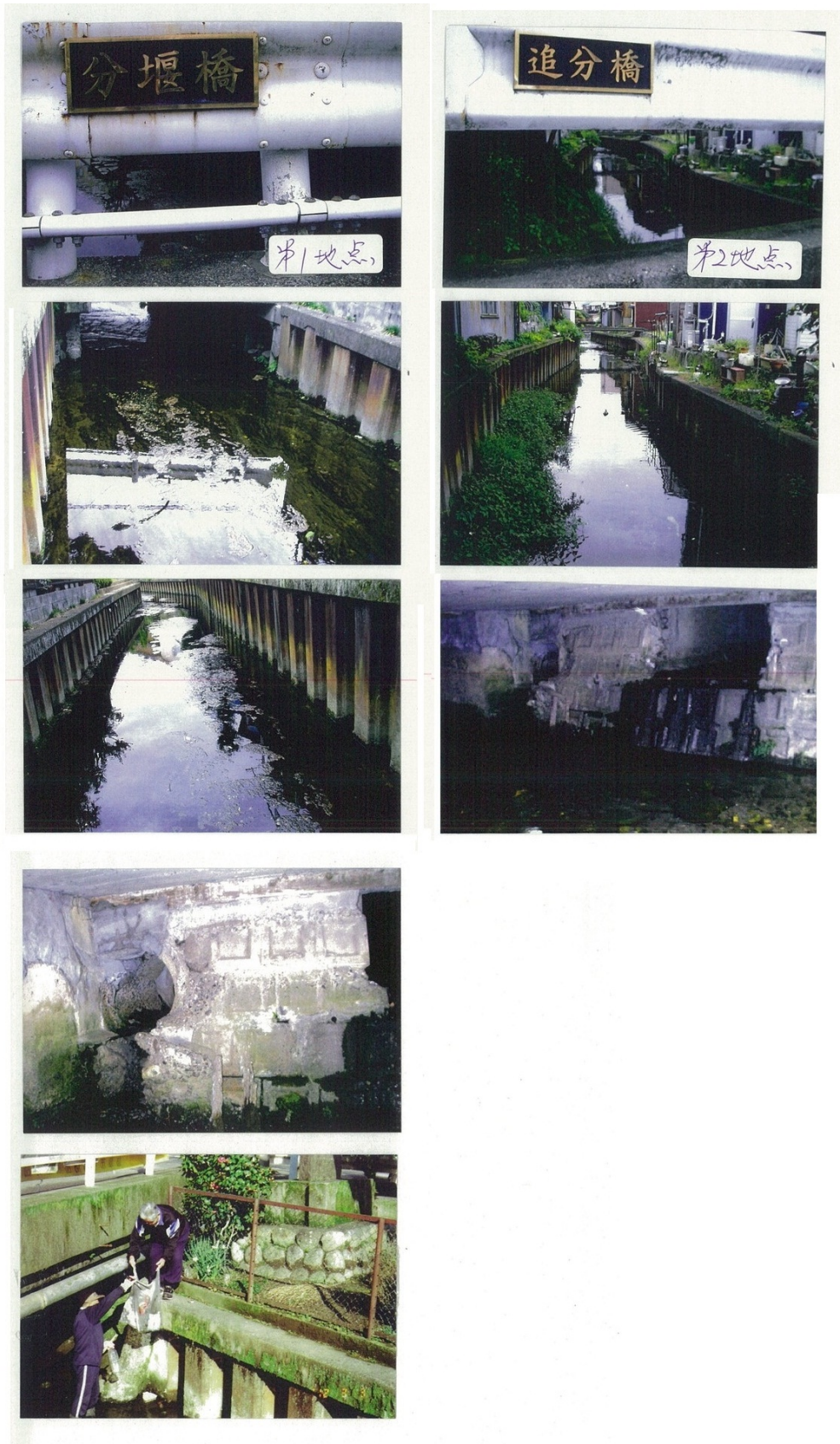


抗瀬川



【団体名：論田川を美しくする会(1/3)】

調査日：平成 27 年 8 月 5 日



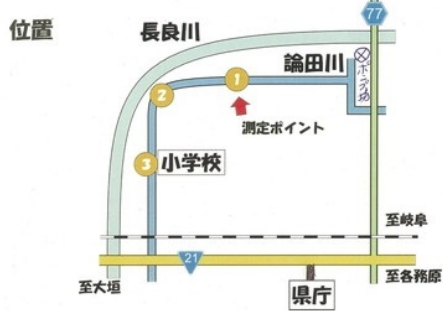


【団体名：論田川を美しくする会(2/3)】

調査日：平成 27 年 8 月 5 日



## 論田川について



## 河川清掃

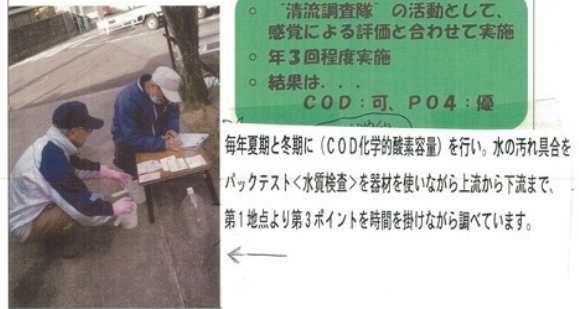


## 論田川について

- 主に岐阜市鏡島地区、市橋地区を流れる都市河川
- 荒田川を介し、長良川へ合流
- 全長約7Km



## パケットによる水質調査



## 河川清掃



## 論田川の生きもの



## 論田川の生きもの



## 論田川の生きもの

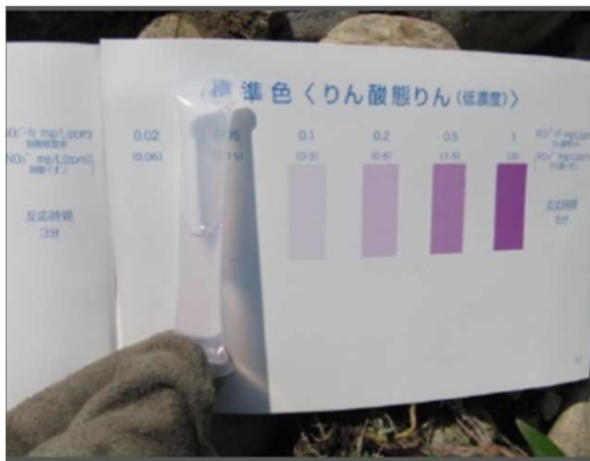
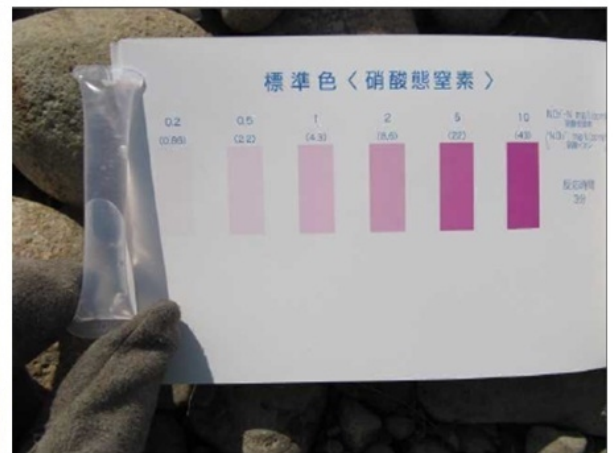
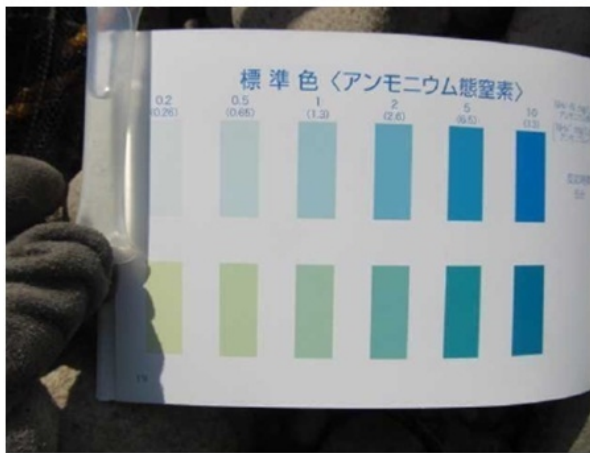
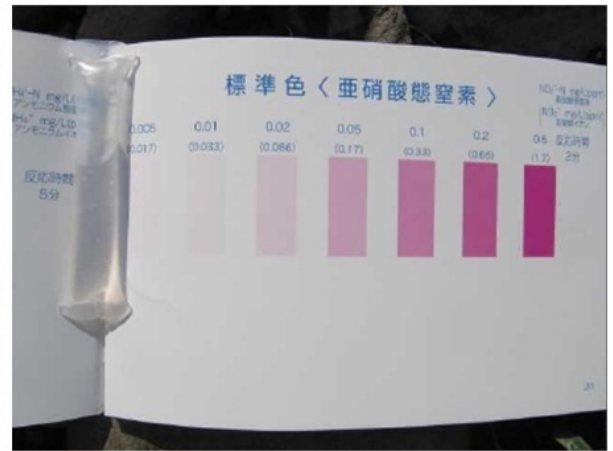
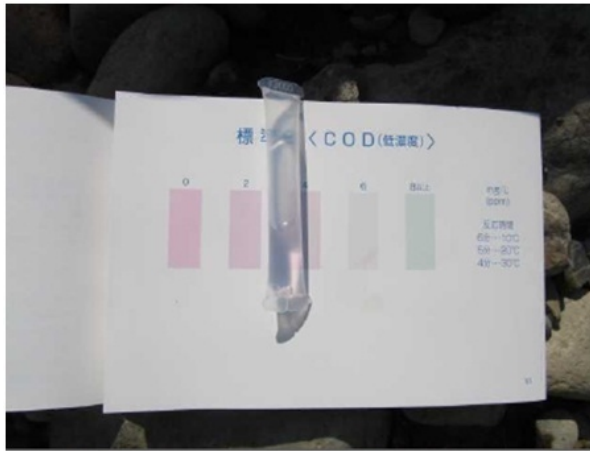
他にも

水生生物	フナ、タナゴ メダカ、カワニナ
鳥類	シラサギ、カルガモ ダイサギ、ムクドリ
陸生生物	モグラ、ネズミ カエル、ヒル
草花類	タンポポ、ショウブ、カキツバタ セイタカアワダチソウ

などが見られます

【団体名：小塩通信株式会社】

調査日：平成 27 年 8 月 1 日



【団体名：神野建設株式会社】

調査日：平成 27 年 8 月 4 日



井川津



白浜



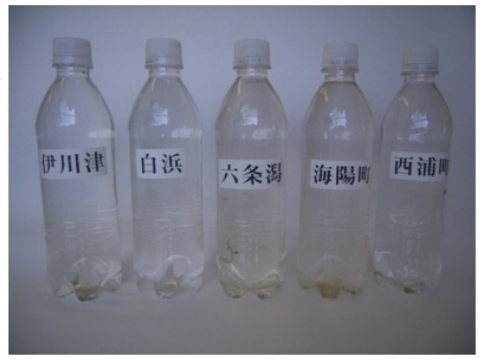
六条潟



星越海岸



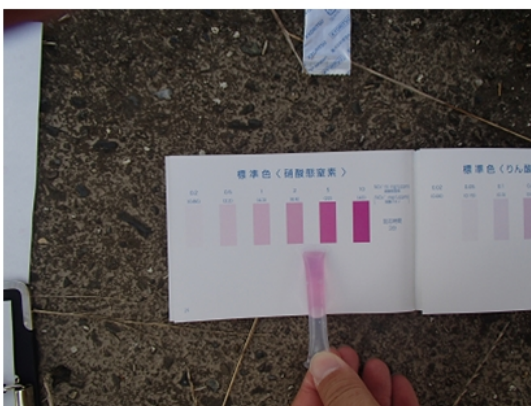
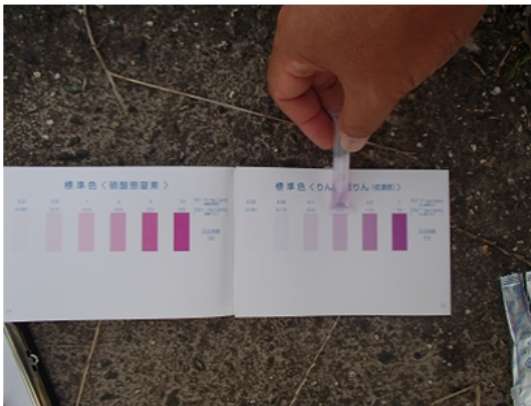
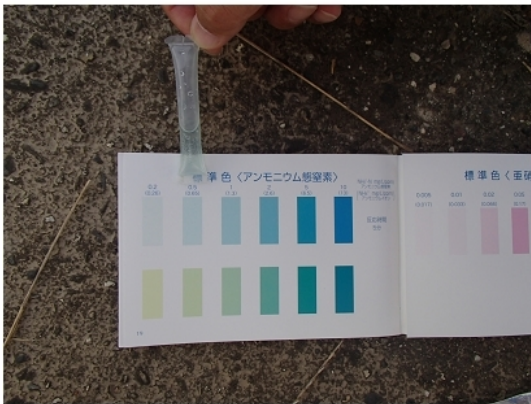
名鉄西浦  
マリーナ



検体比較

【団体名：東芝プラントシステム株式会社中部支社】

調査日：平成 27 年 8 月 5 日



【団体名：東洋建設株式会社】

調査日：平成 27 年 8 月 4 日

1) 採水状況



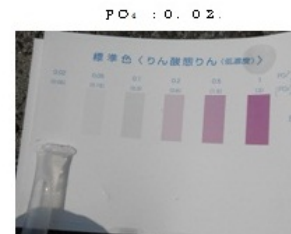
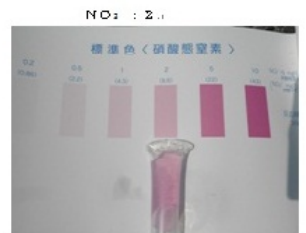
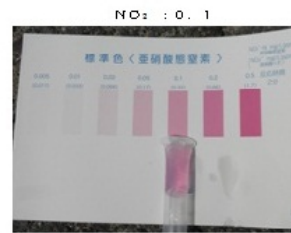
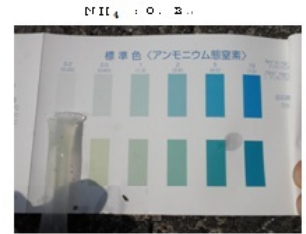
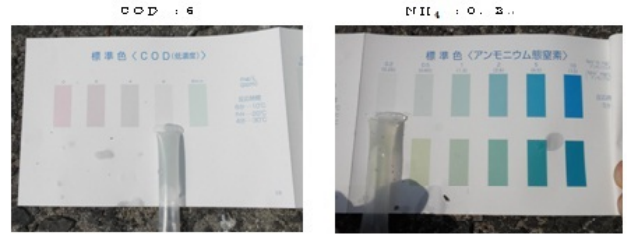
2) 透明度確認 (左：水道水、右：採取水)



3) 周辺状況 (ごみ等はほとんどなし)



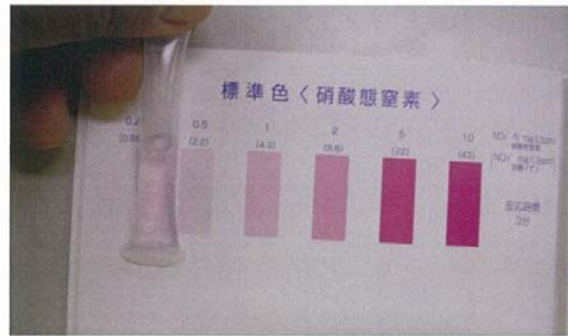
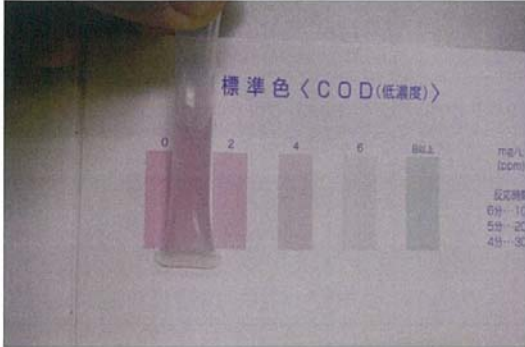
4) 簡易テスト比色



【団体名：名古屋みなと建設工事安全連絡協議会】

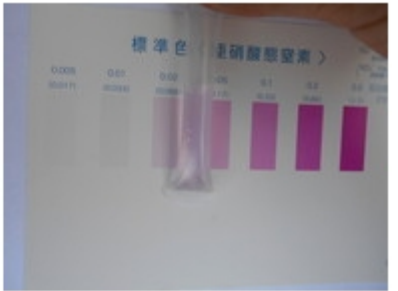
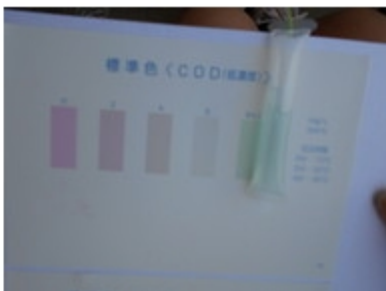
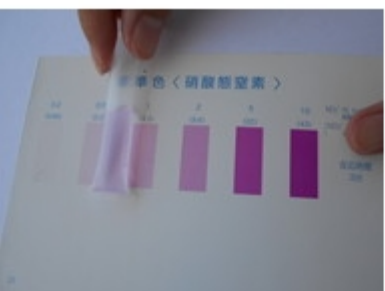
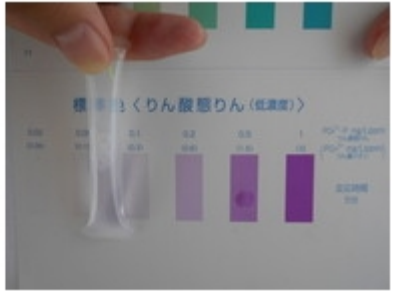
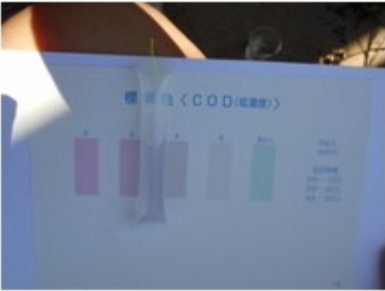
調査日：平成 27 年 7 月 31 日

パックテストの状況写真



【団体名：四日市市立山手中学校理科部】

調査日：平成 27 年 8 月 5 日





### 3.4 ゴミ調査結果

【団体名：内山川ホタルを守る会(グラウンドワーク東海)】

調査日：平成 27 年 8 月 2 日



ゴミ（木切れ）



清掃

【団体名：扇川を愛する緑の会】

調査日：平成 27 年 8 月 2 日



空き缶、上流で散ったエンジュの花？



投げ込み自転車、アオサギ



流出口付近(ビニルごみ、ヒシ)

【団体名：かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議】

調査日：平成 27 年 8 月 8 日



【団体名：公益財団法人河川財団】

調査日：平成 27 年 8 月 11 日/8 月 5 日

【庄内川】

・ゴミの状況写真



ゴミの状況 (水際)



ゴミの状況 (川面)

【木曾川】

・ゴミの状況写真



ゴミの状況 (水際)



ゴミの状況 (川面)

【団体名：亀山の自然を愛する会】

調査日：平成27年8月5日



川筋北側に珪藻土の塊が散らばっている



大雨後は川岸のプラスチック



大雨時流れてくる流木にプラスチックや他のゴミ種が多い。他にこの場所の花火跡が残る。



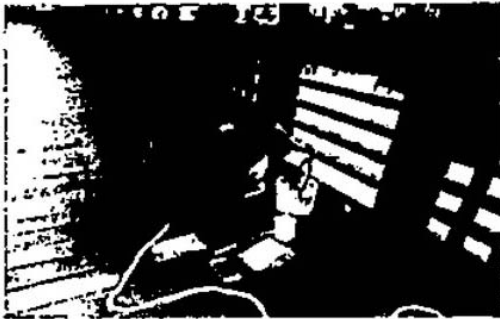
【団体名：NPO 法人木曾三川ごみの会】

調査日：平成 27 年 8 月 7 日



【団体名：白鳥庭園】

調査日：平成 27 年 7 月 30 日



堀川と採取の様子  
水は濁っており、ゴミが少しある。

【団体名：NPO 法人藤前干潟を守る会】

調査日：平成 27 年 8 月 4 日

【庄内川】



【新川】





【団体名：論田川を美しくする会】

調査日：平成 27 年 8 月 5 日



← 橋脚の下には空き缶・ペットボトルなど  
ごみの溜まり場になり定期的に清掃作業  
を行う。



→ ペットボトルによる  
水質検査と清掃作業



### 3.5 水生生物調査結果

【団体名：土岐市生活学校(土岐市) (1/4)】

調査日：平成 27 年 7 月 31 日

調査団体名		土岐市生活学校(土岐市役所)		複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに( )をつけて記入して下さい。	
				調査参加人数	8 人
<b>指標生物</b> (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)				<b>調査地点の概要</b> (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)	
水質階級 I	1	アマカ類		調査河川名	妻木川
	2	ナミウズムシ	○	調査地点名	鶴里町中沢地区
	3	カワゲラ類		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した
	4	サワガニ	○		調査日時
	5	ナガレトビケラ類		天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい
	6	ヒラタカゲロウ類		水温	19.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)
	7	ブユ類		川幅	約 3.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)
	8	ヘビトンボ		生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい
	9	ヤマトビケラ類			水深
	10	ヨコエビ類	●	以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい	
水質階級 II	11	イシマキガイ		流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)
	12	オオシマトビケラ			川底の状態
	13	カワニナ類	●	水質階級の判定	
	14	ゲンジボタル			水のごり
	15	コオニヤンマ	○	水質階級	
	16	コガタシマトビケラ類		1. ○印と●印の個数	3 2
	17	ヒラタドROMシ類		2. ●印の個数	1 1
	18	ヤマトシジミ		3. 合計(1欄+2欄)	4 3 0 0
水質階級 III	19	イソコツブムシ類		この地点の水質階級は I です	
	20	タニシ類			
	21	ニホンドロソコエビ			
	22	シマイシビル			
水質階級 IV	23	ミズカマキリ			
	24	ミズムシ			
	25	アメリカザリガニ			
26	エラミミズ				
27	サカマキガイ				
28	ユスリカ類				
29	チョウバエ類				
その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)				魚類	
チラカゲロウ				ヨシノボリ	
ヒゲナガカワトビケラ					
水草類				鳥類	
				その他、気づいたこと	

【団体名：土岐市生活学校(土岐市) (2/4)】

調査日：平成 27 年 7 月 31 日

調査団体名	土岐市生活学校(土岐市役所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに ( ) をつけて記入して下さい。	
		調査参加人数	8 人

<b>指標生物</b> (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)					<b>調査地点の概要</b> (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)					
水質階級 I	1	アマカ類				調査河川名	妻木川			
	2	ナミウズムシ				調査地点名	御幸橋下流			
	3	カワゲラ類				昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した			
	4	サワガニ					調査日時	平成 27 年 7 月 31 日 10 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)		
	5	ナガレトビケラ類				天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい			
	6	ヒラタカゲロウ類		○		水温	24.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)			
	7	ブユ類				川幅	約 2.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)			
	8	ヘビトンボ		○		生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい			
	9	ヤマトビケラ類					水深	約 15 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい		
	10	ヨコエビ類		●		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい				
水質階級 II	11	イシマキガイ				流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input checked="" type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)			
	12	オオシマトビケラ					川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input checked="" type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他		
	13	カワニナ類		○		水質階級の判定		<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)		
	14	ゲンジボタル					水のにごり	<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている		
15	コオニヤンマ				この地点の水質階級は I です					
16	コガタシマトビケラ類									
17	ヒラタドロムシ類		○							
18	ヤマトシジミ									
水質階級 III	19	イソコツブムシ類								
	20	タニシ類		○						
	21	ニホンドロソコエビ								
	22	シマイシビル		○						
水質階級 IV	23	ミズカマキリ								
	24	ミズムシ								
	25	アメリカザリガニ		○						
	26	エラミミズ								
	27	サカマキガイ								
	28	ユスリカ類								
	29	チョウバエ類								

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)					魚類				
ヒゲナガカワトビケラ					魚類(種不明)				
ニンギョウトビケラ									
クロトンボ									
アメンボ									
ヤゴ									
水草類					鳥類				
					その他、気づいたこと				
					カエル				
					バツタ				

【団体名：土岐市生活学校(土岐市) (3/4)】

調査日：平成 27 年 7 月 31 日

調査団体名	土岐市生活学校(土岐市役所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに ( ) をつけて記入して下さい。	
		調査参加人数	11 人

<b>指標生物</b> (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)					<b>調査地点の概要</b> (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)					
水質階級 I	1	アミカ類				調査河川名	肥田川			
	2	ナミウズムシ				調査地点名	濃南小学校駐車場付近			
	3	カワゲラ類	●			昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年度の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した			
	4	サワガニ	○				調査日時	平成 27 年 7 月 31 日 9 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)		
	5	ナガレトビケラ類	○			天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい			
	6	ヒラタカゲロウ類	○			水温	15.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)			
	7	ブユ類				川幅	約 2.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)			
	8	ヘビトンボ				生物採取場所	<input checked="" type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい			
	9	ヤマトビケラ類					水深	約 20 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい		
	10	ヨコエビ類				以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい				
水質階級 II	11	イシマキガイ				流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input checked="" type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)			
	12	オオシマトビケラ				川底の状態	<input checked="" type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他			
	13	カワナナ類	●				水質階級の判定	<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)		
	14	ゲンジボタル				水のごり		<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている		
15	コオニヤンマ				この地点の水質階級は I です					

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)					魚類				
カワトンボ					ドジョウ				
オニヤンマ					ハヨ				
ヤゴ									
ヒゲナガカワトビケラ									
水草類					鳥類				
					その他、気づいたこと				
					オタマジャクシ				

【団体名：土岐市生活学校(土岐市) (4/4)】

調査日：平成 27 年 7 月 31 日

調査団体名		土岐市生活学校(土岐市役所)		複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに ( ) をつけて記入して下さい。		
				調査参加人数	11 人	
<b>指標生物</b> (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)				<b>調査地点の概要</b> (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)		
水質階級 I	1	アマカ類		調査河川名	肥田川	
	2	ナミウズムシ		調査地点名	肥田町肥田橋付近	
	3	カワゲラ類		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した	
	4	サワガニ			調査日時	平成 27 年 7 月 31 日 10 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)
	5	ナガレトビケラ類	●	天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい	
	6	ヒラタカゲロウ類		水温	21.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)	
	7	ブユ類		川幅	約 7.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)	
	8	ヘビトンボ		生物採取場所 <input type="checkbox"/> 川の中心 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい	水深	約 40 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい
	9	ヤマトビケラ類			以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい	
	10	ヨコエビ類		流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)	
水質階級 II	11	イシマキガイ		川底の状態 <input checked="" type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input checked="" type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他	水のおい <input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)	
	12	オオシマトビケラ				水のごり <input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている
	13	カワニナ類		この地点の水質階級は <b>II</b> です		
	14	ゲンジボタル				
水質階級 III	15	コオニヤンマ	●			
	16	コガタシマトビケラ類				
	17	ヒラタドロムシ類	●			
	18	ヤマトシジミ				
水質階級 IV	19	イソコツブムシ類				
	20	タニシ類				
	21	ニホンドロソコエビ				
	22	シマイシビル				
水質階級 IV	23	ミズカマキリ				
	24	ミズムシ				
	25	アメリカザリガニ				
	26	エラミミズ				
水質階級の判定	27	サカマキガイ				
	28	ユスリカ類				
	29	チョウバエ類				
水質階級の判定 1. ○印と●印の個数 2. ●印の個数 3. 合計(1欄+2欄)			I	II	III	IV
この地点の水質階級は			II です			
その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)				魚類		
エビ				ヨシノボリ		
ヒゲナガカワトビケラ				ドジョウ		
ヤゴ				オオカジカ		
水草類				鳥類		
				その他、気づいたこと		

【団体名：三重県(津市)】

調査日：平成 27 年 7 月 19 日

津市 調査結果

(※)指標生物の出現状況 ●:多く発見、○:発見、-:未発見  
生息生物の詳細をみる

水質	指標生物名	指標生物の出現状況
水質階級 I	アミカ類	-
	ナミウズムシ	-
	カワゲラ類	○
	サワガニ	-
	ナガレトビケラ類	●
	ヒラタカゲロウ類	●
	ブユ類	○
	ヘビトンボ	○
	ヤマトビケラ類	○
	ヨコエビ類	○
水質階級 II	イシマキガイ	-
	オオシマトビケラ	○
	カワニナ類	○
	ゲンジボタル	-
	コオニヤンマ	○
	コガタシマトビケラ類	○
	ヒラタドROMシ類	○
	ヤマトシジミ	-
水質階級 III	イソコツブムシ類	-
	タニシ類	○
	ニホンドロソコエビ	-
	シマイシビル	-
	ミズカマキリ	-
	ミズムシ	○
水質階級 IV	アメリカザリガニ	-
	エラミズ	○
	サカマキガイ	○
	ユスリカ類	-
	チョウバエ類	-
水質階級の判定	水質階級 I	

調査項目	調査結果
調査地点名	津市稲葉町地内(稲初橋付近)
河川名	長野川
調査年月日	2015/07/19
時刻	10時
参加人数	44人
天候	曇り
水温	20.5(°C)
川幅	20(m)
生物を採取した場所	上流から見て右岸
生物採取場所の水深	20(cm)
流れの速さ	速い(毎秒60cm以上)
川底の状態	こぶし大の石が多い
水のごり	透明またはきれい
水のおい	においは感じられない
水その他の状態	
魚	シマドジョウ モロコ ドジョウ アカザ
水草	
鳥	
その他の生物	ヒゲナガカワトビケラ モクズガニ タニガワカゲロウ ヒラタカゲロウ マダラカゲロウ
BOD	
BOD 75%値	
環境基準類型	
備考	
写真	
写真のコメント	

【団体名：内部地区社会福祉協議会（四日市公害と環境未来館）】

調査日：平成27年8月8日

調査団体名		内部地区社会福祉協議会 四日市公害と環境未来館				
指標生物（見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい）				調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)		
水質階級Ⅰ	1	カワゲラ類		調査河川名	内部川	
	2	ヒラタカゲロウ類		調査地点名	新矢矧橋上流	
	3	ナガレトビケラ類		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> Ⅰ <input type="checkbox"/> Ⅱ <input type="checkbox"/> Ⅲ <input checked="" type="checkbox"/> Ⅳ <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した	
	4	ヤマトビケラ類		調査日時	2015年 8月 8日 9時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)	
	5	アミカ類		天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい	
	6	ヨコエビ類		水温	26.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)	
	7	ヘビトンボ		川幅	約 25.0 m 水の流れの幅を整数で記入して下さい	
	8	ブユ類		生物採取場所	<input checked="" type="checkbox"/> 川の中心 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい	
	9	サワガニ		水深	約 30 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい	
	10	ナミウズムシ		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものチェックして下さい		
水質階級Ⅱ	11	コガタシマトビケラ類	2○	流れのよさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30～60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)	
	12	オオシマトビケラ		川底の状態	<input checked="" type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他	
	13	ヒラタドROMシ類		水のおい	<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)	
	14	ゲンジボタル		水のごり	<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている	
	15	コオニヤンマ	1○			
	16	カワニナ類				
	17	ヤマトシジミ				
	18	イシマキガイ				
水質階級Ⅲ	19	ミズカマキリ				
	20	ミズムシ				
	21	タニシ類	1○			
	22	シマイシビル	3●			
水質階級Ⅳ	23	ニホンドロソコエビ				
	24	イソコツブムシ類				
	25	アメリカザリガニ	3●			
水質階級の判定	26	エラミミズ				
	27	サカマキガイ	11●			
	28	セスジユスリカ	2○			
	29	チョウバエ				
この地点の水質階級は			Ⅳです			
昆虫など				魚類		
アメンボたくさん、カワトンボのヤゴ2		ヒゲナガカワトビケラたくさん		シマドジョウ、ヨシノボリ、ギンブナ		
ハグロトンボのヤゴ1・成虫		ニンギョウトビケラ3、モクズガニ3、		コイ、タモロコ、メダカ、オオクチバス		
サナエトンボのヤゴ1、ギンヤンマのヤゴ1		ヌマエビたくさん、スジエビたくさん		アブラハヤ		
ウスバキトンボ・シオカラトンボの成虫		アメリカナミウズムシ1、シジミ類1				
ガムシ2、キイロカワカゲロウたくさん		イシガメ1、トノサマガエル、ウシガエル				
水草類		鳥類		その他、気づいたこと この場所では、スジエビが多く生息しているが、指標生物から外れたために、以前に比べ水質の判定が低くなっていると考えられる。数年前から外来のウズムシが採取される。		

【団体名：かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議】

調査日：平成 27 年 8 月 8 日

水質	指標生物	指標生物の数	水質	指標生物	指標生物の数		
きれいな水	水質階級Ⅰ	1 カワゲラ類	きたない水	水質階級Ⅲ	1 ミズカマキリ		
		2 ヒラタカゲロウ類			2 ミズムシ		
		3 ナガレトビケラ類			3 タニシ類		
		4 ヤマトビケラ類			4 シマイシビル		
		5 アミカ類			5 ニホンドロソコエビ		
		6 ヨコエビ類			6 イソコツブムシ類		
		7 ヘビトンボ			とてもきたない水	水質階級Ⅳ	1 ユスリカ類
		8 ブユ類					2 チョウバエ類
		9 サワガニ					3 アメリカザリガニ
		10 ナミウズムシ					4 エラミミズ
ややきれいな水	水質階級Ⅱ	1 コガタシマトビケラ類	5 サカマキガイ				
		2 オオシマトビケラ	その他気がついたこと オオヨシノボリ 2 カワヨシノボリ 8 アカザ 1 (絶滅危惧Ⅱ類) ドジョウ 1 スジエビ 2 シラハエ 7 ヒゲナガカワトビケラ 13 透視度 80cm				
		3 ヒラタドROMシ類					
		4 ゲンジボタル					
		5 コオニヤンマ					
		6 カワニナ類					
		7 ヤマトシジミ					
		8 イシマキガイ					



【団体名：亀山の自然を愛する会】

調査日：平成27年8月12日

調査団体名	市民ネットワークすずかのぶどう (株式会社建設環境研究所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに( )をつけて記入して下さい。
		調査参加人数
		8 人

<b>指標生物</b> (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)				<b>調査地点の概要</b> (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)																							
水質階級 I	1	アミカ類				調査河川名	鈴鹿川																				
	2	ナミウズムシ				調査地点名	亀山橋																				
	3	カワゲラ類	●			昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input checked="" type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した																				
	4	サワガニ				調査日時	平成27年 8月 12日 10 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)																				
	5	ナガレトビケラ類				天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい																				
	6	ヒラタカゲロウ類	●			水温	26.0℃(小数点1桁まで記入して下さい)																				
	7	ブユ類				川幅	約 10.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)																				
	8	ヘビトンボ				生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい																				
	9	ヤマトビケラ類				水深	約 30 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい																				
	10	ヨコエビ類				以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい																					
水質階級 II	11	イシマキガイ				流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30～60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)																				
	12	オオシマトビケラ				川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他																				
	13	カワニナ類					水のおい	<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)																			
	14	ゲンジボタル					水のごり	<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている																			
15	コオニヤンマ				この地点の水質階級は I です																						
水質階級 III	16	コガタシマトビケラ類				<table border="1"> <tr> <td>水質階級</td> <td>I</td> <td>II</td> <td>III</td> <td>IV</td> </tr> <tr> <td>1. ○印と●印の個数</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. ●印の個数</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 合計(1欄+2欄)</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		水質階級	I	II	III	IV	1. ○印と●印の個数	2				2. ●印の個数	2				3. 合計(1欄+2欄)	4	0	0	0
	水質階級	I	II	III	IV																						
	1. ○印と●印の個数	2																									
	2. ●印の個数	2																									
3. 合計(1欄+2欄)	4	0	0	0																							
17	ヒラタドROMシ類																										
18	ヤマトシジミ																										
19	イソコツブムシ類																										
水質階級 IV	20	タニシ類																									
	21	ニホンドロソコエビ																									
	22	シマイシビル																									
	23	ミズカマキリ																									
24	ミズムシ																										
25	アメリカザリガニ																										
26	エラミミズ																										
27	サカマキガイ																										
28	ユスリカ類																										
29	チョウバエ類																										

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類
アメンボ	サナエトンボ類	ヒゲナガカワトビケラ類
カワムツ	スジエビ類	モクズガニ
ウルマーシマトビケラ	ナベブタムシ	タモロコ
キイロカワカゲロウ	ニンギョウトビケラ類	ヨシノボリ類
コカゲロウ類	ヌマエビ類	
コヤマトンボ		
水草類	鳥類	その他、気づいたこと

【団体名：楠地区まちづくり協議会（四日市公害と環境未来館）】

調査日：平成 27 年 8 月 2 日

調査団体名		楠地区まちづくり協議会 四日市公害と環境未来館				
指標生物（見つけた指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい）				調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)		
水質階級Ⅰ	1	カワゲラ類		調査河川名	鈴鹿川派川	
	2	ヒラタカゲロウ類		調査地点名	河口付近	
	3	ナガレトビケラ類		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した	
	4	ヤマトビケラ類		調査日時	2015年 8月 2日 8時30分 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)	
	5	アミカ類		天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい	
	6	ヨコエビ類		水温	31 °C(小数点1桁まで記入して下さい)	
	7	ヘビトンボ		川幅	約 16.8 m 水の流れの幅を整数で記入して下さい	
	8	ブユ類		生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい	
	9	サワガニ		水深	約 30 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい	
	10	ナミウズムシ		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい		
水質階級Ⅱ	11	コガタシマトビケラ類		流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input checked="" type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)	
	12	オオシマトビケラ		川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input checked="" type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他	
	13	ヒラタドROMシ類		水のおい	<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)	
	14	ゲンジボタル		水のごり	<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている	
水質階級Ⅲ	15	コオニヤンマ		この地点の水質階級は <b>Ⅱ</b> です		
	16	カワニナ類				
	17	ヤマトシジミ	たくさん●			
	18	イシマキガイ				
水質階級Ⅳ	19	ミズカマキリ				
	20	ミズムシ				
	21	タニシ類				
	22	シマイシビル				
水質階級の判定	水質階級		I	II	III	IV
	1. ○印と●印の個数		1			
2. ●印の個数			1			
3. 合計(1欄+2欄)			2			
その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)				魚類		
アシハラガニたくさん、チゴガニ1		フトヘナタリたくさん		ハゼの仲間		
クロベンケイガニ2		イソシジミ1、ヤドカリ1		ウキゴリの仲間		
ヒライソガニ2、ヒメアシハラガニ1						
スジエビ1、アサリ1						
水草類		鳥類		その他、気づいたこと		

【団体名：佐奈川を美しくする会】

調査日：平成27年8月1日

調査団体名	佐奈川を美しくする会 (株式会社建設環境研究所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに( )をつけて記入して下さい。
	調査参加人数	52 人

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)				調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)				
水質階級 I	1	アミカ類		調査河川名	佐奈川			
	2	ナミウズムシ		調査地点名	立花尾橋			
	3	カワゲラ類		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ <input type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> ちがう場所で調査した			
	4	サワガニ			調査日時	平成27年 8月 1日 10時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)		
	5	ナガレトビケラ類		天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい			
	6	ヒラタカゲロウ類		水温	26.0℃(小数点1桁まで記入して下さい)			
	7	ブユ類		川幅	約 8.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)			
	8	ヘビトンボ		生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい			
	9	ヤマトビケラ類			水深	約 20 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい		
10	ヨコエビ類		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい					
水質階級 II	11	イシマキガイ		流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)			
	12	オオシマトビケラ			川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input checked="" type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他		
	13	カワナナ類	●	水のにおい		<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)		
	14	ゲンジボタル				水のごり	<input type="checkbox"/> 透明またはきれい <input checked="" type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている	
	15	コオニヤンマ	●	この地点の水質階級は II です				
	16	コガタシマトビケラ類						
水質階級 III	17	ヒラタドロムシ類						
	18	ヤマトシジミ						
	19	イソコツブムシ類						
水質階級 IV	20	タニシ類						
	21	ニホンドロソコエビ						
水質階級の判定	22	シマイシビル						
	23	ミズカマキリ	○					
	24	ミズムシ						
	25	アメリカザリガニ	●					
	26	エラムミズ						
	27	サカマキガイ						
	28	ユスリカ類						
29	チョウバエ類							
水質階級の判定				この地点の水質階級は II です				

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)			魚類		
アメンボ	サナエトンボ類	ヒメガムシ	オイカワ		
イトトンボ類	シジミ類	ヤゴ(種不明)	カマツカ		
キロカワカゲロウ	スジエビ類	トンボ	カワヨシノボリ		
コオイムシ	タイコウチ		モツゴ		
コオニヤンマ	ヌマエビ類				
水草類	鳥類		その他、気づいたこと		

【団体名：塩浜学童保育所】

調査日：平成27年8月5日

調査団体名	塩浜 学童保育所 (株式会社建設環境研究所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに( )をつけて記入して下さい。	
		調査参加人数	24 人

<b>指標生物</b> (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)					<b>調査地点の概要</b> (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)																								
水質階級 I	1	アミカ類				調査河川名	鈴鹿川																						
	2	ナミウズムシ				調査地点名	塩浜																						
	3	カワゲラ類				昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した																						
	4	サワガニ					調査日時	平成27年 8月 5日 10 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)																					
	5	ナガレトビケラ類				天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい																						
	6	ヒラタカゲロウ類				水温	31.0℃(小数点1桁まで記入して下さい)																						
	7	ブユ類				川幅	約 10.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)																						
	8	ヘビトンボ				生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい																						
	9	ヤマトビケラ類					水深	約 10 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい																					
	水質階級 II	10	ヨコエビ類				以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい																						
11		イシマキガイ		●		流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input checked="" type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)																						
12		オオシマトビケラ					川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他																					
13		カワニナ類				水質階級の判定		<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、糞のような不快感のあるにおい)																					
14	ゲンジボタル				水のにごり		<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている																						
15	コオニヤンマ					<table border="1"> <tr> <td>水質階級</td> <td>I</td> <td>II</td> <td>III</td> <td>IV</td> </tr> <tr> <td>1. ○印と●印の個数</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. ●印の個数</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 合計(1欄+2欄)</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>					水質階級	I	II	III	IV	1. ○印と●印の個数		1			2. ●印の個数		1			3. 合計(1欄+2欄)	0	2	0
水質階級	I	II	III	IV																									
1. ○印と●印の個数		1																											
2. ●印の個数		1																											
3. 合計(1欄+2欄)	0	2	0	0																									
16	コガタシマトビケラ類				この地点の水質階級は II です																								
17	ヒラタドロムシ類																												
18	ヤマトシジミ																												
水質階級 III	19	イソコツブムシ類																											
	20	タニシ類																											
水質階級 IV	21	ニホンドロソコエビ																											
	22	シマイシビル																											
23	ミズカマキリ																												
24	ミズムシ																												
25	アメリカザリガニ																												
26	エラミミズ																												
27	サカマキガイ																												
28	ユスリカ類																												
29	チョウバエ類																												

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類
アメンボ	シジミ類	マハゼ
クロベンケイガニ	スジエビ類	ヨシノボリ類
コオイムシ	タイコウチ	
コカゲロウ類	ヌマエビ類	
ミズヌマエビ	モクズガニ	
水草類	鳥類	その他、気づいたこと

【団体名：多気町松阪市学校組合立多気中学校】

調査日：平成27年8月7日

調査団体名	多気町松阪市学校組合立多気中学校 (株式会社建設環境研究所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに( )をつけて記入して下さい。
	調査参加人数	14 人

指標生物 (見つけた指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)					調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)	
水質階級 I	1	アミカ類			調査河川名	櫛田川
	2	ナミウズムシ			調査地点名	両郡橋
	3	カワゲラ類			昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ ■ 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は □ I ■ II □ III □ IV □ ちがう場所で調査した
	4	サワガニ				調査日時
	5	ナガレトビケラ類			天気	■ はれ □ くもり □ 雨 調査時の天気をチェックして下さい
	6	ヒラタカゲロウ類			水温	28.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)
	7	ブユ類			川幅	約 50.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)
	8	ヘビトンボ			生物採取場所	□ 川の中心 □ 上流から見て右岸 ■ 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい
	9	ヤマトビケラ類				水深
	10	ヨコエビ類			以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい	
水質階級 II	11	イシマキガイ			流れのはやさ	□ 速い(毎秒60cm以上) □ 普通(毎秒30~60cm) ■ 遅い(毎秒30cm以下)
	12	オオシマトビケラ				川底の状態
	13	カワニナ類			水質階級の判定	
	14	ゲンジボタル				水のごり ■ 透明またはきれい □ 少しにごっている □ 大変にごっている
	15	コオニヤンマ		●	この地点の水質階級は II です	
	16	コガタシマトビケラ類				
	17	ヒラタドロムシ類				
	18	ヤマトシジミ				
水質階級 III	19	イソコツブムシ類				
	20	タニシ類				
	21	ニホンドロソコエビ				
	22	シマイシビル				
水質階級 IV	23	ミズカマキリ				
	24	ミスムシ				
	25	アメリカザリガニ				
	26	エラミミズ				
	27	サカマキガイ				
	28	ユスリカ類				
	29	チョウバエ類				
水質階級の判定	水質階級		I	II	III	IV
	1.	○印と●印の個数		1		
	2.	●印の個数		1		
	3.	合計(1欄+2欄)	0	2	0	0

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類
カワゲラ類	ニンギョウトビケラ類	カワムツ
キイロカワカゲロウ		ヨシノボリ類
サナエトンボ類		
タニガワカゲロウ類		
チラカゲロウ		
水草類	鳥類	その他、気づいたこと

【団体名：三重県立飯野高等学校】

調査日：平成27年8月11日

調査団体名	三重県立飯野高等学校 (株式会社建設環境研究所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに( )をつけて記入して下さい。
	調査参加人数	4 人

指標生物 (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)				調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)				
水質階級 I	1	アミカ類		調査河川名	鈴鹿川			
	2	ナミウズムシ		調査地点名	庄野橋			
	3	カワゲラ類		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input checked="" type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した			
	4	サワガニ		調査日時	平成27年 8月 11日 13 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)			
	5	ナガレトビケラ類		天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい			
	6	ヒラタカゲロウ類		水温	29.0 °C(小数点1桁まで記入して下さい)			
	7	ブユ類		川幅	約 10.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)			
	8	ヘビトンボ		生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい			
	9	ヤマトビケラ類		水深	約 20 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい			
	10	ヨコエビ類		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい				
水質階級 II	11	イシマキガイ		流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)			
	12	オオシマトビケラ		川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他			
	13	カワニナ類		水のおい	<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)			
	14	ゲンジボタル		水のごり	<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている			
	15	コオニヤンマ	●	この地点の水質階級は II です				
	16	コガタシマトビケラ類						
	17	ヒラタドロムシ類						
	18	ヤマトシジミ						
水質階級 III	19	イソコツブムシ類						
	20	タニシ類						
	21	ニホンドロソコエビ						
	22	シマイシビル						
	23	ミズカマキリ						
	24	ミズムシ						
水質階級 IV	25	アメリカザリガニ	●					
	26	エラミミズ						
	27	サカマキガイ						
	28	ユスリカ類						
	29	チョウバエ類						

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類	
ガガンボ類	ヌマエビ類	ウキゴリ	
カゲロウ類	ヤゴ(種不明)	オイカワ	
キイロカワカゲロウ		タモロコ	
コカゲロウ類			
サナエトンボ類			
水草類	鳥類	その他、気づいたこと	

【団体名：三重県立国児学園】

調査日：平成27年8月4日

調査団体名	三重県立国児学園 (株式会社建設環境研究所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに( )をつけて記入して下さい。	
		調査参加人数	37 人

<b>指標生物</b> (見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)					<b>調査地点の概要</b> (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)						
水質階級 I	1	アミカ類				調査河川名	雲出川				
	2	ナミウズムシ		○		調査地点名	小戸木橋				
	3	カワゲラ類		○		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年度の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input checked="" type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した				
	4	サワガニ					調査日時	平成27年 8月 4日 14 時			
	5	ナガレトビケラ類		●			天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい			
	6	ヒラタカゲロウ類		○			水温	28.0 °C (小数点1桁まで記入して下さい)			
	7	ブユ類					川幅	約 20.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)			
	8	ヘビトンボ					生物採取場所	<input checked="" type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい			
	9	ヤマトビケラ類					水深	約 28 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい			
	10	ヨコエビ類					以下は、生物を採取した場所にあてはまるものをチェックして下さい				
水質階級 II	11	イシマキガイ				流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input checked="" type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)				
	12	オオシマトビケラ					川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他			
	13	カワニナ類				水のおい		<input checked="" type="checkbox"/> においは感じられない <input type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)			
	14	ゲンジボタル					水のにごり	<input checked="" type="checkbox"/> 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている			
水質階級 III	15	コオニヤンマ		●		この地点の水質階級は I です					
	16	コガタシマトビケラ類									
	17	ヒラタドロムシ類		○							
	18	ヤマトシジミ									
水質階級 IV	19	イソコツブムシ類									
	20	タニシ類									
	21	ニホンドロソコエビ									
	22	シマイシビル									
水質階級の判定	23	ミズカマキリ									
	24	ミズムシ									
	25	アメリカザリガニ									
	26	エラミミズ									
	27	サカマキガイ									
水質階級の判定	28	ユスリカ類									
	29	チョウバエ類									
水質階級の判定 1. ○印と●印の個数 2. ●印の個数 3. 合計(1欄+2欄)					I	II	III	IV			

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類
カエル(幼生)	タニガワカゲロウ類	カワムツ
カゲロウ類	ヒゲナガカワトビケラ類	ヨシノボリ類
コカゲロウ類		
サナエトンボ類		
シジミ類		
水草類	鳥類	その他、気づいたこと

【団体名：三重県立久居農林高等学校(1/2)】

調査日：平成27年7月31日

調査団体名	三重県立久居農林高等学校(土木・機械コース) (株式会社建設環境研究所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに( )をつけて記入して下さい。
	調査参加人数	27 人

指標生物 (見つけた指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)				調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)			
水質階級 I	1	アマカ類		調査河川名	雲出川		
	2	ナミウズムシ		調査地点名	小戸木橋		
	3	カワゲラ類	●	昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は <input type="checkbox"/> I <input checked="" type="checkbox"/> II <input type="checkbox"/> III <input type="checkbox"/> IV <input type="checkbox"/> ちがう場所で調査した		
	4	サワガニ			調査日時	平成27年 7月 31日 10 時 開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)	
	5	ナガレトビケラ類	○	天気	<input checked="" type="checkbox"/> はれ <input type="checkbox"/> くもり <input type="checkbox"/> 雨 調査時の天気をチェックして下さい		
	6	ヒラタカゲロウ類	●	水温	26.1℃(小数点1桁まで記入して下さい)		
	7	ブユ類		川幅	約 25.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)		
	8	ヘビトンボ		生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 <input checked="" type="checkbox"/> 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい		
	9	ヤマトビケラ類			水深	約 30 cm 採取した場所の平均的な水深を記入して下さい	
	10	ヨコエビ類		以下は、生物を採取した場所にあてはまるものチェックして下さい			
水質階級 II	11	イシマキガイ		流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) <input type="checkbox"/> 普通(毎秒30~60cm) <input checked="" type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)		
	12	オオシマトビケラ		川底の状態	<input type="checkbox"/> 頭大の石が多い <input type="checkbox"/> こぶし大の石が多い <input checked="" type="checkbox"/> 小石と砂 <input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> 砂と泥 <input type="checkbox"/> 泥 <input type="checkbox"/> コケ <input type="checkbox"/> その他		
	13	カワニナ類			水のおい	<input type="checkbox"/> においは感じられない <input checked="" type="checkbox"/> においが感じられる (ドブ、石油、薬のような不快感のあるにおい)	
	14	ゲンジボタル		水のごり	<input type="checkbox"/> 透明またはきれい <input checked="" type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている		
	15	コオニヤンマ	○				
	16	コガタシマトビケラ類					
水質階級 III	17	ヒラタドROMシ類	○				
	18	ヤマトシジミ					
	19	イソコツブムシ類					
	20	タニシ類					
水質階級 IV	21	ニホンドロソコエビ					
	22	シマイシビル					
	23	ミズカマキリ					
	24	ミズムシ					
	25	アメリカザリガニ					
水質階級の判定	水質階級		I	II	III	IV	
	1. ○印と●印の個数		3	2			
	2. ●印の個数		2				
3. 合計(1欄+2欄)		5	2	0	0		
この地点の水質階級は							I です

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類
ウルマーシマトビケラ	シジミ類	チラカゲロウ
ガガンボ類	タニガワカゲロウ類	モンカゲロウ類
ギンヤンマ	ナベバタムシ	ハゼ類
コカゲロウ類	ヒゲナガカワトビケラ類	ヨシノボリ類
サナエトンボ類	モクズガニ	
水草類	鳥類	その他、気づいたこと



【団体名：三重県立久居農林高等学校(2/2)】

調査日：平成27年8月7日

調査団体名	三重県立久居農林高等学校(環境保全コース) (株式会社建設環境研究所)	複数団体が合同で実施している場合は、代表的な団体名をひとつ記入し、他の団体名は代表的な団体の後ろに( )をつけて記入して下さい。	
		調査参加人数	29 人

指標生物 (見つけた指標生物に○印、数が多かった上位から2種類(最大3種類)に●印をつけて下さい)					調査地点の概要 (生物を採取した場所の状況について記入して下さい)	
水質階級 I	1	アミカ類			調査河川名	雲出川
	2	ナミウズムシ			調査地点名	小野江頭首工
	3	カワゲラ類	○		昨年度の調査状況 (昨年度調査に参加した方のみチェックして下さい)	今年の調査地点は昨年度と同じですか？ ■ 同じ場所で調査した 昨年度の水質階級は ■ I □ II □ III □ IV □ ちがう場所で調査した
	4	サワガニ				調査日時
	5	ナガレトビケラ類	●		天気	■ はれ □ くもり □ 雨 調査時の天気をチェックして下さい
	6	ヒラタカゲロウ類	●		水温	29.8 °C(小数点1桁まで記入して下さい)
	7	ブユ類			川幅	約 8.0 m 水の流れの幅を記入して下さい(小数点1桁まで記入できます)
	8	ヘビトンボ	○		生物採取場所	<input type="checkbox"/> 川の中心 <input type="checkbox"/> 上流から見て右岸 ■ 上流から見て左岸 採取した場所をチェックして下さい
	9	ヤマトビケラ類				水深
	10	ヨコエビ類			以下は、生物を採取した場所にあてはまるものチェックして下さい	
水質階級 II	11	イシマキガイ			流れのはやさ	<input type="checkbox"/> 速い(毎秒60cm以上) ■ 普通(毎秒30~60cm) <input type="checkbox"/> 遅い(毎秒30cm以下)
	12	オオシマトビケラ				川底の状態
	13	カワニナ類			水質階級の判定	
	14	ゲンジボタル				水のごり ■ 透明またはきれい <input type="checkbox"/> 少しにごっている <input type="checkbox"/> 大変にごっている
15	コオニヤンマ			水質階級の判定		
水質階級 III	16	コガタシマトビケラ類	○		1. ○印と●印の個数	4 1
	17	ヒラタドロムシ類			2. ●印の個数	2
	18	ヤマトシジミ			3. 合計(1欄+2欄)	6 1 0 0
	19	イソコツブムシ類			この地点の水質階級は	I です
水質階級 IV	20	タニシ類				
	21	ニホンドロソコエビ				
水質階級 IV	22	シマイシビル				
	23	ミズカマキリ				
水質階級 IV	24	ミズムシ				
	25	アメリカザリガニ				
水質階級 IV	26	エラミズ				
	27	サカマキガイ				
水質階級 IV	28	ユスリカ類				
	29	チョウバエ類				

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類
アメンボ	タニガワカゲロウ類	モツゴ
ウルマーシマトビケラ	チラカゲロウ	
キベリマメゲンゴロウ	ヌマエビ類	
コヤマトンボ	ヒゲナガカワトビケラ類	
スジエビ類	モクズガニ	
水草類	鳥類	その他、気づいたこと

## 4. 感想等

一斉モニタリングの参加者から感想を頂きました。

### ◆参加者名、団体名：岐阜県岐南町建設課

#### ◆主な観測地点：境川 清六橋上流

- ・ 昨年の調査基準日前後は雨天が続き水質もよい結果が得られませんでした。今年は晴天に恵まれて良い調査結果を得ることができました。
- ・ 水の透明度は思ったより良く、きれいでした。小魚や鯉が泳いでいるのも確認できるほどのきれいさでした。
- ・ 父の子供の頃は（30年程前）かなり水がよどんでおり、水質が汚染されていたようですが、岐南町も下水道整備が進み20年余りが経つようで、川の水もきれいになってきていると言っていました。
- ・ 普段、川辺にはあまり近づきませんが、あらためて川に接すると、岐南町の川も結構きれいなんだと感じました。

### ◆参加者名、団体名：岐阜県御嵩町

#### ◆主な観測地点：可児川 西田

- ・ 苔が多くぬるぬるする。
- ・ 転びやすい。

#### ◆主な観測地点：可児川 美佐野

- ・ 石に苔がついている。
- ・ ごみは見当たらない。

### ◆参加者名、団体名：第四管区海上保安本部警備救難部環境防災課

#### ◆主な観測地点：名古屋港

- ・ 海水が茶色く濁っていて水温も高かったが、数値は意外と低い。

#### ◆主な観測地点：四日市港

- ・ 水温が高い。

#### ◆主な観測地点：セントレア港

- ・ 植物・ビニール袋などのゴミが認められる。
- ・ 水はきれいで調査数値の異常は見られなかった。

#### ◆主な観測地点：衣浦港

- ・ ボラの大群が海面を飛び跳ねていた。
- ・ 衣浦港は企業施設が多く、今後さらに増加が見込まれるため、水質の変化に注視していきたい。

#### ◆主な観測地点：三河港

- ・ 木屑、細かい発泡スチロールなどのゴミがあり、湾内の所々に密集しやすい箇所がある。
- ・ 各種数値に異常は見られなかった。
- ・ 海水温が高いが、赤潮、青潮の認知は昨年と比較して少なく、赤潮は1回、青潮はない。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アカエイが異常繁殖しているとの市民グループからの情報あり。</li> </ul> <p>◆主な観測地点：鳥羽港</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後も継続して実施したい。</li> </ul> <p>◆主な観測地点：伊良湖港</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後も継続して実施したい。</li> </ul>
<p>◆参加者名、団体名：土岐市生活学校（土岐市）</p> <p>◆主な観測地点：妻木川上流 鶴里町中沢地区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度よりも水量が多く水深が深くなっていた。</li> <li>・ 川の淵の植物の陰で多くの水生昆虫が採取できた。</li> </ul> <p>◆主な観測地点：妻木川下流 土岐津町御幸橋下流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度よりも川の中州が大きくなり、水深、川幅、水流の速度が変わっていた。</li> <li>・ 川底の石全体に藻が付着しぬるぬるしていた。</li> </ul> <p>◆主な観測地点：肥田川上流 鶴里町濃南小学校駐車場付近</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水量が少なく川が浅かった。</li> </ul> <p>◆主な観測地点：肥田川下流 肥田町肥田橋付近</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度よりも、水量が多く水深が深かった。</li> </ul>
<p>◆参加者名、団体名：宮川流域ルネッサンス協議会</p> <p>◆主な観測地点：宮川上流漁協下（大台町滝谷）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複数の家族が自然を楽しんでいた。</li> <li>・ 調査当日は跳ねる鮎と沢蟹を目撃している。</li> </ul> <p>◆主な観測地点：奥伊勢フォレストピア付近（大台町藪）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水深が浅いので幼児から安全に遊ぶことの出来る水辺として人気が高い。この日も親子3代で訪れる家族が多く見られた。</li> </ul> <p>◆主な観測地点：山海の郷紀勢下</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鮎の友釣り客が陣取る河川である。この日も遠方から来県された方が午前の部の竿を納めて休憩されていた。</li> <li>・ 両岸が護岸工事されていて、蛇行することによって砂の堆積した岸や中洲などを形成している。</li> <li>・ 特に鮎の活性が頗る良く、飛び跳ねる魚影を多く見た。</li> </ul> <p>◆主な観測地点：三瀬谷ダム下流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河床を見ると細かい粒子が沈殿して石などに被り覆ってしまっている。</li> <li>・ 水質は悪くはないが、川が汚れているように見えるのは残念。</li> <li>・ 特に鮎の活性が頗る良く、飛び跳ねる魚影を多く見た。</li> </ul> <p>◆主な観測地点：高橋下</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 濁りの無い清らかな流れである。</li> <li>・ 当日は魚の活性が高く、6mm から 40mm の体長の個体が元気よく泳いでいた。</li> </ul>

- ・ 流量が乏しいような気がした。

◆主な観測地点：西垣内フリーバス停下

- ・ 鮎の友釣り客が見受けられたが、活性が思わしくないのか釣られてくることはなかった。
- ・ 流量が増えれば本来の浄水力で水質が良くなるように思えた。

◆主な観測地点：度会橋下

- ・ 当日は比較的流量があったため、天然鮎が跳ねる様子が頻繁に見られた。活性がかなり良い。

◆主な観測地点：浦田橋下

- ・ 護岸が施され市営駐車場にもなっている。親水公園のように散策に利用している観光客が多かった。
- ・ 河床の石には茶色い藻類が生えていた。階段部の水面の位置あたりには 3mm くらいの巻貝が大量に固着していた。魚はそれぞれが活性も良くて元気に泳いでいた

◆主な観測地点：馬淵橋下

- ・ 大幅に河川改良が施されている。堤防は嵩上げされ、河床にはブロックが整然と置かれている横を水が流れている。流量は極端に少ない。
- ・ 天然鮎の魚影が確認出来た。

◆参加者名、団体名：イーツワン（環境 21 期会）

◆主な観測地点：堀川 小塩橋

- ・ 水の流れ：歩く速さ
- ・ ごみ：川の中に落ち葉が少量浮かんで流れている。採水中にビニール袋が 1 ヶ確認された。
- ・ 水質測定の前年比について  
 COD : 8 以上で変わらず高め (昨年測定値 8 以上)  
 NH<sub>4</sub>-N : 3 で変わらず高め (昨年測定値 2.5~3.0)  
 NO<sub>2</sub>-N : 0.4 で変わらず高い (昨年測定値 0.5)  
 NO<sub>3</sub>-N : 7 で変わらず高い (昨年測定値 10)  
 PO<sub>4</sub>-N : 0.3 で変わらず高い (昨年測定値 0.3~0.4)

◆参加者名、団体名：生田川マモロード会

◆主な観測地点：生田川

- ・ 生田川源流に、3 年前まで粘土採掘場が稼働していた時はにごり水が時々見掛けられましたが、閉山されてから透明の流れになり、魚が見られる。
- ・ 毎年一斉モニタリングに参加していますが、生田川の COD、NH<sub>4</sub>、NO<sub>2</sub>、NO<sub>3</sub>、PO<sub>4</sub> 共に他の地域の比較して良い数値になっている。
- ・ モニタリング内容について、用紙に記入の際、戸惑います。モニタリング欄の感じた点を記入する部分の内容を改良してもらいたいと思います。

◆参加者名、団体名：NPO 法人伊勢湾フォーラム

◆主な観測地点：中川運河いろは橋付近 名古屋港漕艇センター

- ・ 夏休み中のため、レガッタの練習をする学生が多く、賑わっていた。
- ・ 水質環境は良い。
- ・ 水温は、測定地の水深が 1m～1.5m のため、上層下層も関係なく 31℃～32℃でした。

◆主な観測地点：中川運河小栗橋付近上層

- ・ 水質環境は良い。
- ・ 水温は、測定地の水深が 1m～1.5m のため、上層下層も関係なく 31℃～32℃でした。

◆参加者名、団体名：内部地区社会福祉協議会（四日市公害と環境未来館）

◆主な観測地点：内部川 新矢矧橋上流

- ・ 数年前から観察されている外来種のウズムシが増えている。
- ・ 水生生物調査で、スジエビが指標から外れたので、水質判定の結果がどうしても悪くなりがち。（ここ 3 年くらいずっと「たいへん汚い」）
- ・ 水自体はきれいそうには見えるが、生き物の種類や数が減っている気がする。

◆参加者名、団体名：内山川ホタルを守る会（グラウンドワーク東海）

◆主な観測地点：内山川 上境坪橋上流

- ・ 気温が朝から高く調査時点では既に 34℃もあり、参加者が少なかったです。
- ・ この調査場所は昨年と比べ、サワガニの数が増えています。

◆主な観測地点：内山川 森下橋下流

◆参加者名、団体名：扇川を愛する緑の会

◆主な観測地点：扇川 上汐田橋（干潮時）

- ・ 満潮時に比べ、水質は良くなった。リンの数値が高めだったのは水位が下がり川底の砂が若干バケツに入った可能性あり。
- ・ 採水地点の目と鼻の先の投げ込み自転車も相変わらず酔っ払いのせいか、放置自転車に腹を立てたやつの仕業か、やめてくれ！
- ・ 市街地のど真ん中にある大池に端を発し市街地の中を流れる川にしては、きれいな川だと思う。

◆主な観測地点：扇川 上汐田橋（満潮時）

- ・ 以前は、年に 4 回ほど水質調査を実施していたが、一年ぶりの調査。水質に関する自身の感覚がレベルダウン。
- ・ 例年ゴールデンウィーク明けに行う川掃除も、仕事の都合で実施できなかったのも手伝って、以前に比べて水質が悪くなったかなというのが第一印象。調査結果も海水が多いせいか夏のせいか、あまり良くなかった。
- ・ 今年の秋には、川掃除を呼びかけてスッキリしたい。

◆主な観測地点：扇川源流（大池） 大池放水口

- 源流、大池は数年前に浚渫工事が行われ、きれいになるのかなと思ったが、翌年、ヒシが大発生。枯れた時に水が、真茶色になっていた。ヒシが、生えていることが自然なのか、毎年ヒシが群生している姿を見ると、ひどく汚れた感じがする。生活排水が流れ込む環境、ヒシの腐敗が水質を悪くしている原因なのかな。
- 扇川には所々で湧水が流入しているそうです。大池の汚れは途中々で湧水と汚れとが混ざりながら、若干きれいな水質となって海に流れ込んでいるのでしょうか。

◆参加者名、団体名：大井まちづくり協議会 スナメリの海

◆主な観測地点：大井川

- 河口から 300m 位の所で満潮になると海水が遡上し海水魚も沢山見られます。今年は 7cm 位のクサフグ、5cm 位のボラの魚群、フナ等々、魚を捕食するゴイサギ、トビなどがよく集まって来ます。水質はあまり良くないと思いますが強い農薬が使われていた時より魚達も鳥達も元気です。

◆主な観測地点：大井漁港聖崎

◆主な観測地点：鳶ヶ崎

◆主な観測地点：海田川

◆参加者名、団体名：大垣市生活学校

◆主な観測地点：水門川 貴船神社横

- 湧き水も流入しているせいか、目を見た所ではすきとおっていてきれい。が、7月25日（土）水門川クリーン作戦時に掃除したはずなのに、8月1日（土）水まつりの時には川底にジュース缶や、白いものが1~2ヶ落ちていた。通りすぎりにほうり投げる人がいるのだろうか？投げ込むゴミがなくならない限り、答志島にゴミが集まってしまふのがさげられない。

◆参加者名、団体名：小里川ダム里山教室

◆主な観測地点：庄内川上流の土岐川本流 ①明德橋

- 4ポイント全部で酸素要求量 COD が 4~6 と高い。他の調査項目は、比較的きれいなので、原因はなんだろうか？
- 最上流域の支流の地点④佐々良木川は、水質もきれいで、アカザやアジメドジョウも生息し、水中生物も豊かであり、昔川遊びした、清流の土岐川の状態が保存されていて、貴重な川と考える。
- 昨年は水生生物として、ハグロトンボヤゴを多く採取できたが、今年は一匹も見当たらず、すべて成虫となっていた。温暖化の所為か？
- 上流域本流の地点③釜戸川の新町屋橋は、最近、まとまった雨がなく、川水の増水が無いので、川砂の移動もなく、水中の石苔が腐って、アユの生育には適していない状態であった。残念であるが、アユも放流を今年からやめたのは、うなずける。
- 時々、川の流れが増えて、川砂の移動が生じ、水生生物の食糧である、石苔が再生でき

ることが必要と思う。

◆主な観測地点：土岐川の支流の小里川 ②孕子橋

- ・ 小里川上流に小里川ダムがあり、渇水時にもかかわらず、水量が確保されているので、水生生物が多くいる。
- ・ 小里川上流に小里川ダムがあり、水温が他の地点よりも、1℃程低い。

◆主な観測地点：土岐川本流釜戸川 ③新町屋橋

- ・ 鮎がない。(このエリアは今年より、鮎放流を取りやめた)
- ・ しばらく降雨がなく、石苔が腐りつつあり、鮎の生育には、適さない状態になっている。

◆主な観測地点：釜戸川支流佐々良木川 ④上平橋

- ・ 昨年より川環境が良さそうだ。

◆参加者名、団体名：かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議

◆主な観測地点：庄内川 高蔵寺町2丁目付近

- ・ 身近な河川の水質について調査することで、普段の生活や活動を見つめなおす良い機会となった。

◆参加者名、団体名：公益財団法人河川財団

◆主な観測地点：庄内川

- ・ 庄内川の河川環境について、一見最近きれいになったと言われているが、よく観察すると、ゴミは散乱している。河のにおいも気になるなどまだまだ河川環境の改善を図る必要があります。
- ・ 調査ヶ所は、庄内川用水取水口より1km程上流部の幸心健康公園内であり、日頃は水の流れが少ない所である。また、今回の調査日は近年まれな暑い夏の日に実施した。このため、河川水のおいやよごれも多くあったようである。

◆主な観測地点：木曾川

- ・ 船頭平開門の木曾川水路部での調査の為、水の流れは無い。
- ・ 満潮時でもあり河川底は緑濃く見えてないが、採水した水は透明度があり、見た目よりきれいであった。
- ・ 船頭平開門内の水の流れの少ない所で調査したため、本来の河川調査地点とは異なる結果が出ているのではないか。しかしこのような状況も川にはあることから、データとして取り扱っていただきたい。

◆参加者名、団体名：金山町生活学校

◆主な観測地点：馬瀬川下流

- ・ 猛暑の中での調査なので、大変である。

◆主な観測地点：飛騨川

- ・ 鮎も生息しているので金山橋の下ではつり人の姿がよくみられます。
- ・ いつもは目でみる観察の調査でしたが、今日はパックテストによる川の水の調査ができ

て、詳しくわかって良かったです。

◆主な観測地点：福来谷中ノ田

- ・ 10年前迄は蛍が輝いていた。見学者もあった。今は少量。

◆主な観測地点：菅田川 金山町菅田桐洞（大谷戸）菅田橋下

- ・ 飛驒川へ注ぐ流域でごみも無くきれいでした。
- ・ はじめてのことで少し手間どりました（水質検査）。

◆主な観測地点：金山町中官長洞谷

- ・ 昼間は暑いので夕方に調べました。

◆参加者名、団体名：可児市めだかの楽校

◆主な観測地点：可児川 可児市役所北側

- ・ 今年も8月上旬に私たちの恒例行事、カワゲラウォッチングと一緒に「一斉モニタリング」を行いました。親子で参加したのが28人、中部大学の学生5人と先生が2人、めだかの楽校の会員と可児市環境課の職員など、総勢で約600人になりました。
- ・ 子どもたちの多くは小学生、中学生は2年生が1人参加。大学生が、はじめて今回参加。新鮮で、積極的に取り組んでいました。何らかの形で調査とか観察が継続していくことを願っています。

◆参加者名、団体名：亀山の自然を愛する会

◆主な観測地点：鈴鹿川・加太川合流点より加太川へ30m上流

- ・ パックテストでいつもCODが鈴鹿川では高い方向の数値が出る。BODも追随するのだろうか。源流部の採石場の加工水などが関係しているのだろうか。上流部のCODの高さに疑問を感じる。
- ・ 加太川－鈴鹿川合流点は1.5m以上の深みや鉄橋脚のまわりの淀み、葦など適度な岸部林、そして浅い砂礫のある瀬もあり、家族の良き遊び場であり水生生物の多種が育ちやすい場所でもある。生活排水、水田汚水、採石場での洗浄水など注意せねばならないところもまだ有る。また川で遊ぶ人々のゴミ処理のモラルなど、向上は我々の責任でもある。学校教育に少しでも取り入れていきたい。
- ・ 加太・鈴鹿川は源流までの距離が37～38kmと短く、降雨後の変化も激しい。治水、利水に変化が（影響が）少ない場合、人工的な補強工事は自然環境保護の点から避けて頂きたい。

◆主な観測地点：鈴鹿川 亀山橋下流170m左岸

- ・ この地点も上流と同じくCOD値が大きい。工業団地、化学工場、食品工場、老人ホーム、未下水道地域など、川周辺にあるからだろうか。
- ・ 魚の種類が多い。清流の魚（タカハヤ、カワムツ、オイカワ、アカザなど）と比較的汚れた水での魚（フナ、タモロコ、タナゴ、アメリカザリガニなど）が同居している。近くに製糸工場や生活排水路があり、豊栄養水が流れているからだろうか。他に魚に適した構造が多々あることは確かだ。



- ・ 鈴鹿川周辺の（沿岸の）田畑は増水時の遊水地の役目を果たしている。ここへ住宅が建ち始めた。もし被害に会った時、その対策に護岸の強固対策が打たれると現在の良好な川構造が破壊されるし費用がかかる。亀山の条令でこの様な地の住宅建造を避ける様、何とかならないか。行政には言っているのだが。

◆参加者名、団体名：NPO 法人木曾三川ごみの会

◆主な観測地点：三重県桑名市長島町福吉地先

- ・ 今回のモニタリングは、小学生の環境学習の一環として会員代表者が学校等に働きかけたところ、学校関係者も前向きに検討し今回の合同調査が設定されました。さらに桑名市役所環境政策課、同市長島総合支所に協力していただき環境啓発資料、児童に対する事故防止安全用具等の準備（ライフジャケット、手袋等）等々積極的に支援をして下さいました。児童も伊勢湾を含め流域河川の人たちが環境問題に取り組んでいることを知り環境に対する意識を強くしたように感じた。児童達は「来年も参加したい」と話していた。

◆参加者名、団体名：楠地区まちづくり協議会（四日市公害と環境未来館）

◆主な観測地点：鈴鹿川派川 楠町南五味塚

- ・ 調査場所周辺で3月ごろに工事を行っていたので、生き物がいないのではないかと危ぶまれましたが、昨年までたくさんいたアシハラガニ含め、たくさんのカニが観察できてよかった。
- ・ また新たに工事があるようだが、このままの環境を残してほしい。
- ・ 貝の種類や数が今年は少なかった。
- ・ こんなにたくさん生きものがいることに驚いた。

◆参加者名、団体名：鯨城・堀川と生活を考える会

◆主な観測地点：堀川 港新橋 国道23号線

- ・ 最大満潮時刻 10:03、最大干潮時刻 15:03、（小潮）潮の流れはない。
- ・ ほぼ、満潮時刻に測定しており、名古屋港の水を測定しているのかも知れない。
- ・ 生き物が見当たらない。ヨシなどの植物が豊かに生育していれば可能性はあるが…。
- ・ 昨年12月、宮の渡しから下流側で多くのカモ（ホシハジロ）を見た時は感動。
- ・ 生き物豊かな堀川にするには調査を継続し、その結果を多くの市民が知り、身近な川に感心を持つことが肝要。

◆参加者名、団体名：清水川を愛する会

◆主な観測地点：新荒田川

- ・ うまく測定出来たか不安。
- ・ 新荒田川は境川と合流して長良川へ流入。境川はどこかのグループが調査してるのか。
- ・ 調査点の緯度経度、どう調べるの？

<p>◆参加者名、団体名：十四川を守る会</p> <p>◆主な観測地点：十四川</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>十四川は、今回の採水場所（豊栄橋）の上流の約 2km に渡って、両岸が桜並木になっており、地域住民の憩いの場となっていますが、家庭排水に加え川に捨てられるビニール類等の「ゴミ」が河口に堆積し、川の汚れや悪臭の原因となっています。（この川の河口には災害対策として水門が設置されているため、ゴミ類が堆積しやすい構造となっています。）</li> <li>十四川を守る会でも年間を通じて、堤防や川の中の清掃活動を行っていますが、住民の一人ひとりも川を汚さない様、意識を強くもってほしいものです。</li> </ul>
<p>◆参加者名、団体名：白鳥庭園</p> <p>◆主な観測地点：堀川</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年とあまり状況の変化はみられなかった。今年は暑いせいか水のにごりが濃かったように思えた。気温が高い日はイオウのような臭いもあった。</li> <li>ウミウやカルガモなどの鳥はよく見られる。川沿いのプロムナードでも散策している人やウォーキングをしている人が多くいるので、川がきれいになると良いなと思った。</li> </ul>
<p>◆参加者名、団体名：NPO 法人神社みなとまち再生グループ</p> <p>◆主な観測地点：勢田川</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年と同程度のデータ値であった。</li> </ul>
<p>◆参加者名、団体名：NPO 法人親水会</p> <p>◆主な観測地点：堀川 幅下橋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6日は所用のため9日になってしまい申し訳ありません。</li> <li>ごみ欄の“水際”と植物欄の“水際”とは同じ意味でしょうか？</li> <li>シンジュ（ニワウルシ）がとうとう生えだした。多分、国道 22 号線の新郷周橋（名は？）以南の街路樹のタネが飛んで来たかも知れず、護岸に影響するかも知れない。一考されたい。</li> </ul>
<p>◆参加者名、団体名：スティッチ</p> <p>◆主な観測地点：加瀬田川</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いつもありがとうございます。</li> </ul>
<p>◆参加者名、団体名：高松干潟を守ろう会</p> <p>◆主な観測地点：朝川河口</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>暑い！</li> </ul>

◆参加者名、団体名：地球クラブ

◆主な観測地点：鈴鹿川 大和橋下流へ 100m 左岸

- ・ 不法投棄や悪水の垂れ流しなど、かつての河川環境を悪くした状況の段階をクリアし、川の水質は安定してきている。産業や生活をとり巻く経済、社会状況が落ち着いてきたことが一つの要因なのかもしれない。反面、水質が川の生き物にとって、以前のような清冽で快適なものに回復するには、人々の努力と時間とが必要かと感じる。
- ・ 今回調査を含めて、多くの人たちが川に入る機会を得て、現状を知って生き物のこと、水の恩恵などに気付き、生活を改善してもらえるように働きを強めていきたい。
- ・ 山間部から海までの間で行われている、河川、水路に架かる公共工事についても、これまで以上に循環型自然体系の保全という視点を最優先して進めて欲しい。

◆主な観測地点：鈴鹿川 亀山橋下流へ 100m 左岸

◆参加者名、団体名：引山学区連絡協議会

◆主な観測地点：香流川 引山橋下流 50m

- ・ 水温が高い。
- ・ アユが群れている。
- ・ オイカワがたくさんいる。
- ・ ミシシッピーアカミミガメが大量にいる。スッポンもいる。
- ・ カワセミが冬～夏にかけて2羽みかける。

◆参加者名、団体名：NPO 法人藤前干潟を守る会

◆主な観測地点：庄内川 国道 23 号線

- ・ 最大満潮時刻 8:18、最大干潮時刻 14:34（中潮）、潮の流れは歩く速さに近い（上流→下流）。
- ・ パックテストなどの測定は、大型車による振動が激しいため、自宅に持ち帰り計測。
- ・ 新川と違い夏場に見られがちな水草（藻）が流れていない。
- ・ 透視度が 71cm あり、この時期にしては高めの数値が得られた。
- ・ この数年、ヨシの減少が著しい。
- ・ せめて「ごみ」に関しては無くならないものかと思う。

◆主な観測地点：新川 国道 23 号線

- ・ 11 時過ぎに、庄内・新川大橋の歩道橋から新川左岸側に茂っているヨシの住民「オオヨシキリ」の鳴き声に嬉しさを感じた。
- ・ 最大満潮時刻 8:18、最大干潮時刻 14:34（中潮）、潮の流れは歩く速さに近い（上流→下流）。
- ・ 夏場に見られがちな水草（藻）が少し流れている。
- ・ 透視度が 87cm あり、この時期にしては高い数値。
- ・ 新川橋の下では、ハゼを釣っている人がいるが入れ食い状態。
- ・ 堤防の小段には、ごみが沢山捨てられており、釣り人に限らずマナーの悪さに閉口。

- ・ 昨年も感じたが、庄内川に比べ新川の「ヨシ」は元気良く育っている。

◆参加者名、団体名：別所団地西鹿乗川美化クラブ

◆主な観測地点：西鹿乗川

- ・ ここ約 500m の間、別所団地美化クラブが左岸フェンス内外の除草、ゴミ拾い、樹木の剪定を定期的実施している。又他に年数回川中に入り、排水や魚の生息に配慮して樹木の切り取り、雑草の刈取をし、散歩者が川中の生きものを観察しやすいように努めている。魚の居場所、量は年々変化するが、川をのぞき込む散歩者は多い。

◆参加者名、団体名：まいバンク協議会(梅田川フォーラム)

◆主な観測地点：梅田川下流

- ・ 今年は猛暑も厳しく、シジミの生息調査を去年に続いて行いました。植田小学校の 4～6 年生が 6 名参加してくれました。予め決めて置いた調査点（植田川下流：植田橋～野依橋の間）で 5 月に出来なかった所を行ったが、川底がヘドロで被われている所は生息が確認出来ませんでした。やはり川砂地が有る場所に生息しているが、分布の広がりは見えませんでした。
- ・ 炎暑が効いて、熱中症を心配しながら、水質調査の採水を 5 項目×3 測定点を終了しました。若者が 2 名協力してくれましたので、スムーズに水質測定（比色）が出来ました。3 地点の内、植田橋中央の採水から NO<sub>3</sub> が特別に高い測定値が出て不思議です。梅田川は、午前中に大潮で川底の状態が観察出来ました。水は比較的きれいですが、ゴミもなく、流れも有りますが、川底がヘドロが厚く堆積しているのが気に成ります。
- ・ 「メダカすくいゲーム」で盛り上がった。メダカの観察は昨年より小さい様です。

◆主な観測地点：梅田川 植田橋中央

◆参加者名、団体名：松並木つくり隊

◆主な観測地点：庄内川 万場大橋

- ・ 昨年あたりでも参加者少なかったようですが、もっと漁港での調査を広められるといいと思います。

◆主な観測地点：庄内川 明德橋

- ・ 来年より大々的に河床浚渫とのこと。妙に深場を作ったりして貧酸素地を作らないこと。

◆主な観測地点：名古屋港貯木場 第 2 イカダ川大橋

- ・ 最近魚釣不調か。新しい釣餌のくずが落ちてない。釣人も居ないし、ひからびた雑魚も落ちてない。
- ・ キッパの大群が来たのは初めて。ものすごい量がいる。

◆主な観測地点：名古屋港 名港トリトン西大橋西詰め

- ・ こここ最近釣りにならないらしい。釣人の入った跡が古い。
- ・ 高速道高架下の日陰を利用して、海風に当りパーベキューを楽しむ人が増えた。それに伴いゴミの問題が気掛り。

<p>◆主な観測地点：名古屋港 金城大橋（東）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• NH<sub>4</sub> と PO<sub>4</sub> の試薬が今回どうした事か一部溶けにくくダメができたり、のりの様になったりしました。保存は冷蔵庫の野菜室で、移動中は発泡プラ容器に保冷剤をいれてました。</li> <li>• ここも不漁のようで、一人の釣人情報では例年この時期ギマ、キス、ハゼボラ、サヨリ、マダカ、赤・黒のタイ、イサキが釣れるとか。</li> <li>• 下水処理場内装置を掃除したら、汚水を原水に戻さず、排水口から放出する事があり、それが問題とのことだった。</li> </ul>
<p>◆参加者名、団体名：養老町女性会議</p> <p>◆主な観測地点：揖斐川 五三川・津屋川・金草川</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 団体活動で水調査を実施し、生活水の安全性について学習しております。今後も参加し学び協力していきます。</li> </ul>
<p>◆参加者名、団体名：養老町生活と環境を考える会</p> <p>◆主な観測地点：牧田川右岸 養老町食肉事業センター近く</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 一斉モニタリングの結果を知りたいと思う。調査したこと、そして結果について、いかに、どのように地域住民にどう伝え、そして水に関心を持ってもらい、毎日の生活の中で一人一人がやれることを実践できる様につなげる。一斉モニタリングをそんな活動にしていきたいです。一斉モニタリングの結果と今後の住民活動へのアドバイスもご指導いただきたいです。</li> <li>• 今から 30 年程前、我子と共に毛針でアユ釣を牧田川でしました。しかしアユが釣れなくなって久しいです。今年はアユ釣りでアユが戻ってきました。</li> <li>• ①大垣市上石津町に下水設備が出来て 10 年、②大垣市の産廃が一杯で捨てられていない、③牧田川の雑木を切ったり、とつ堤をとったり整備がここ数年されば水量が多い今年です。</li> <li>• 参加させていただきありがとうございました。今後共ご指導よろしくお願ひ致します。</li> </ul>
<p>◆参加者名、団体名：四つ葉会</p> <p>◆主な観測地点：東川 池田町立池田小学校東</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 去年よりきれいだった。</li> </ul> <p>◆主な観測地点：中川 国道 417 号線・県道 53 号線の交差点東</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• すぐ下に「セキ」があり、夏は止めてあるので水が流れず「モ」が多く発生していた。</li> </ul> <p>◆主な観測地点：抗瀬川 池田町立八幡小学校北</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 水量は多かったが、水際にところどころ湧水があり、きれい。水温は低く気持ちいい感じ。</li> <li>• 毎日、何気なく見ている川だが、こうして良く見ると川ってすばらしいと思える</li> </ul>
<p>◆参加者名、団体名：論田川を美しくする会</p> <p>◆主な観測地点：論田川 第 1 地点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 水量がない川ですから、ヘドロ、ミズワタ等が発生し風下に立つと臭いがひどくする。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 泡が非常に多い。</li> <li>◆主な観測地点：論田川 第2地点</li> <li>◆主な観測地点：論田川 第3地点</li> </ul>
<p>◆参加者名、団体名：小塩通信株式会社</p> <p>◆主な観測地点：長良川 鏡島大橋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成22年度位より参加させて頂いております。今年度は、いつもより蒸し暑いと感じながら調査致しました。以前と比べるとスムーズに調査（約30分程度）することが出来たことと、毎年長良川清掃にあわせ活動が出来るので、段取り良く出来ました。次年度も継続して出来る限り活動していきますので、ご担当者様も頑張ってください。もちろん、私も引き続き応援していきます。</li> </ul>
<p>◆参加者名、団体名：東芝プラントシステム株式会社中部支社</p> <p>◆主な観測地点：庄内川 放水路付近</p> <p>◆主な観測地点：庄内川 新名西橋付近</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初めての参加でしたが、モニタリング説明書に解りやすく説明されていたので、スムーズに実施する事が出来ました。</li> <li>・ 現在活動中の庄内川アダプト活動（清掃活動）と合わせて、モニタリングも継続的にやりたいと思います。</li> <li>・ 来年も是非参加させて頂きますので今後ともよろしくお願い致します。</li> </ul>
<p>◆参加者名、団体名：東洋建設株式会社</p> <p>◆主な観測地点：天白川 河口部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年も参加し、水質調査を同一地点で行った。大きな環境改善は見られなかった。</li> <li>・ 今後も継続して参加したい。</li> </ul>
<p>◆参加者名、団体名：伊勢市立上野小学校</p> <p>◆主な観測地点：横輪川（1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 網やペットボトルなどのゴミが多く、川も汚く魚があまり見つけられなかった。植物は意外に多い。</li> </ul> <p>◆主な観測地点：横輪川（2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミが落ちていたが以前よりは少ない。思っていたより水はきれいだった。きれいな川に生息する魚を時々見かける。</li> </ul> <p>◆主な観測地点：横輪川（3）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思っていたより水は濁っておらず、きれいだった。水量が多く魚が多くいた。</li> </ul>

◆参加者名、団体名：四日市市立山手中学校理科部

◆主な観測地点：海蔵川河口

- 全体的に値が高かった。そして、調査した場所の周りにごみが落ちていて、それに付着している汚れが微生物のえさになったりして、水質汚染の原因の一つになってしまうと思うから、ごみ拾いなどをしたら少しでも水質が改善できるのではないかと思った。
- 帰るときに橋の上から大きな魚が一匹見えて、魚がいられる環境なのだとは思ったが、調査しているときには魚が一匹もいなかったから、寂しいと思った。
- 水質調査の時ごみがたくさんあって木のような大きなごみも流れてくるということは誰かが捨ててしかもそのことをなんとも思っていないということになるから、みんなが気をつければ水質はすこしでもよくなっていくと思った。
- 上流と下流の汚れ具合は、ほとんど同じくらいだ。ただし、 $\text{NO}_3$ に関していえば、上流のしらすき橋付近でのほうで、数値が高くなっている（2倍以上）。また、 $\text{PO}_4$ は、下流の方で、数値が2倍ほど高くなっている。河口の方の結果を見てみると、CODや $\text{NH}_4$ は、通常の範囲内に入っていた。 $\text{NO}_2$ や $\text{PO}_4$ は、通常より少し多く、 $\text{NO}_3$ は、少し少なかった。 $\text{NO}_3$ は、下流に行くにつれて、減少しているようなので、途中で植物などはそれなりにいるようだ。 $\text{PO}_4$ が多かったのは、工業排水などの分が流れ込んでいるからではないか。コンビナートなどは河口のほうにあるので、下流のほうで数値が高いことが説明できる。
- CODは、高いほうが良いと思っていたけれど生きものがないということだからCODが高いことはうれしいことではないとわかりました。海蔵川がもう少しきれいになったら生き物も来てくれるのかなと思いました。海蔵川は、魚がそこそこいるからきれいなんだと思っていたけど実際はそうでもないんだとわかりました。